京城日報
三月九日夕刊（朝夕刊併せて八頁）
京城太平町通一丁目　發行所　京城日報社　電話　編輯・營業
發行兼編輯人　小川三之助

第四十回帝國議會（東京特電）

衆議院（八日）

▲決算委員總會

製鐵所鋼片拂下問題（朝刊より續く）＝編輯延著＝

吉川理事は田中省三への拂下は小野鐵工造船所に對して爲せるものなり拂下の事務に就ては申込に對し各要職にある者意見を附し長官最後の決裁を爲すが例なり東海鋼業會社に對する契約は安田外七名の名義にて締結し居れりと不得要領の答辯を爲し次で

▼小林嘉平治氏（憲政）東海鋼業會社の工場能力、同會社職工の種類、鋼片の拂下價格、同會社以外（電文不明）に加工する工場の有無如何と質問し猶過般の押川長官と農相との答辯は矛盾せずやとの質問に對し

▼仲小路農相　押川長官の心事を闡明し當時の條約委員會懇談會の經過を詳述し契約は長官の本意にあらざりしと辯じ猶過般衆議院に於て長官が當時の處分を不當と思はずと言明せるは一旦決裁せるものに對する責任上斯く云へるものにして今後の處置に就き言及せるものに非ずと押川氏の爲めに辯じ

▼高橋光威氏（政友）製鐵所問題は一時質問を打切りとす可しと動議を出し且仲小路農相は此際製鐵所の宿弊を一掃し充分廓淸する意志ありやと附帶質問を爲す

▼仲小路農相　今回の事件は遺憾に堪へず充分廓淸を期すと言明し質問打切りの質問を爲すや政友、國民、新政の各派は一齊に贊成し獨り憲政會側異議を主張し小林、小泉の諸氏囂々として委員長の採決を難じたる矢先小林氏は新橋何を云ふやと一喝するや議席を離れつかつかと高橋氏の身邊に迫り將に格鬪に及ばんとす△△△△際委員等馳け附け纔かに事なきを得、正午休憩後引續き開會、午前の小林氏の質問に對し吉川政府委員より東海鋼業會社の鋼片消化力に關し說明し次で三土忠造氏より大藏大臣、外務大臣の出席を要求し一先づ休憩、同一時五十分再開各大臣閣議にて出席なき由なれば明日其出席を待ちて質問續行す可しとの動議高橋光威氏より提出され成立後午後二時散會

獨逸東漸と極東

▲西伯利亞出兵　各國大使意見一致か

日本の西伯利亞出兵に關し英、佛、伊三國大使は本國政府の訓電に接せるものゝ如し各大使の自動車は兩三日來頻りに外務省米大使館を往復し七日午後米大使館にて英佛兩大使とモーリス大使との間に長時間に亙る協議あり午後は伊國大使とモーリス大使と會見せるが多分今明日中には聯合各國大使間に意見の一致を見るならんと（東京特電）

▲華市外交界の取沙汰　日本の西伯利亞活動に就て

華盛頓外交界の取沙汰に曰く『日本は西伯利亞に於ける活動の範圍及び目的に關する米國其他各聯合國との諒解の成行如何を今猶繼續中なる外交々涉に讓り時局に對應す可く此際至急行動を開始す可し』と（華盛頓電報）

▲露人義勇兵組織

哈爾賓の露西亞人は五百名の義勇軍を組織し支那軍隊より機關銃四門砲四門を借受け滿洲里に向ふべしと（長春特電）

◉土木主任打合會（第三日）

道土木主任打合會第三日は九日午前九時より總督府第二會議室に於て開會午前中指示及び注意事項あり之を以て日程全部を終了し解散したり

◉水産主任打合會日程

道水産主任打合會は來る十一日より十四日迄四日間毎日午前九時三十分より總督府第二會議室に於て小原農商工部長官統裁の下に開催せらるべきが日程左の如し

▲第一日（十一日）水産製品檢查規則草案並に漁業資金融通方法其他に關する打合▲第二日（十二日）前日に同じ▲第三日（十三日）調査事項▲第四日（十四日）注意事項

◉辭令　八日附左の通り發令ありたり

一級俸下賜　朝鮮總督府遞信事務官補　伊藤喜久馬

依願免本官　同遞信事務官　吉村謙一郎

任朝鮮總督府稅關長　叙高等官五等四級俸下賜　同臨時土地調查局副事務官　尾崎虎一

任朝鮮總督府道事務官　叙高等官五等五級俸下賜　同稅關長　野手耐

釜山稅關在勤を命す　同稅關長　吉村謙一郎

鎮南浦稅關在勤を命す　同道事務官　矢島音次

全羅南道第二部長を命す　同道事務官　尾崎虎一

黃海道第二部長を命す　同事務官　石原留吉

任朝鮮總督府府尹　叙高等官五等三級俸下賜　新義州在勤を命す　同府尹　竹崎六次郎

依願免本官

◉陸軍記念日と訓話

軍司令部及び各聯隊附將校は例年の如く十日の陸軍記念日當日各學校生徒に對し講話を爲すべく其の校名場所並に將校氏名左の如し

學校名	講話場所	講話者
▲第一班		
仁川商業學校、同高等女學校、同尋常高等小學校	仁川尋常高等小學校	歩兵中佐　相良廣一
鎮南浦高等女學校、同尋常高等小學校	鎮南浦尋常高等小學校	歩兵少佐　山田輝[illegible]
開城尋常高等小學校	於其校舍	歩兵少佐　足立武[illegible]
水原尋常高等小學校	同上	歩兵大尉　[illegible]
群山尋常高等小學校	同上	歩兵少佐　[illegible]
木浦尋常高等小學校	同上	歩兵大尉　樋口信[illegible]
釜山商業學校、釜山高等女學校	同上	歩兵少佐　伊木[illegible]
▲第二班		
京城中學校、京城工業專門學校、京城醫學專門學校	元師團司令部將校集會所	歩兵中佐　山本鶴一
▲第三班		
京城高等女學校、京城女子技藝學校	有信會南方[illegible]	歩兵中佐　竹内[illegible]
▲第四班		
京城高等普通學校、普成高等普通學校、養正高等普通學校、徽文義塾	龍山騎兵營	歩兵少佐　小林道生
京城女子高等普通學校、淑明女子高等普通學校、進明女子高等普通學校	同	歩兵中佐　栗原重平
▲第五班		
同德女學校、南大門公立尋常小學校外十二校	同上	歩兵大佐　[illegible]

東京より　在京一記者

獨逸東漸と極東問題（四）　聯合國の遺算と日本の位置

〇聯合國と中歐同盟國との行動如何を察するに、一方は敏、他方は鈍、一方は速、他方は遲、敏鈍遲速の差盖し日を同うして語る可からず。獨逸は戰略に於ても、政策に於ても、外交に於ても、常に勝ち易きに勝ち、善く敵を致して敵に致されず。聯合國は、戰略に於ても、政策に於ても、外交に於ても、若々機を失し、敵を致さむとして敵に致さるゝを、免れず。是れ實に準備と不準備との致す所。彼の對露政策に於ても亦其の油斷大敵の箴言を閑却し、遺算の多きを免れざりしもの、吾人の痛恨事とせざるを得ざる所也。

〇露國の革命は、開戰當時に在ては、聯合國の豫期せざりし政變たるや、固より論を俟たず。而して聯合國は、帝政々府に對する反動の結果、露國の革命を歡迎したるに拘らず、其の革命の大業に就て、積極的援助を與へず、終始傍觀の態度に出でたるは、無爲の甚しきものにして、是れ其の遺算の一也。ケレンスキー政府の倒れて、レニン政府と爲るや、聯合國は、レニン一派の行動に對し毫も其の信用を置かざりしに拘らず、英國が非公式に之を容認し、米國が一種の同情をレニン一派に表したるが如きは、不徹底の甚しきものにして、是れ其の遺算の二也。過激派政府が有史以來未だ曾て有らざる國際的背信を敢てし、秘密的條約を暴露し、倫敦宣言、巴里經濟會議の決議を無視し敵國と單獨講和談判を開始せむとするや、聯合國は正々堂々、大義名分に訴へ、其の罪惡を世界に鳴らし、鼓を鳴らして之を責めざる可からざるに拘らず、沈々默々、之を馬耳東風に附し去り、何等の積極的行動に出でざりしは、全く聯合國の高唱しつゝある正義公道と矛盾するの甚しきものにして、是れ其の遺算の三也。過激派政府の單獨講和談判に著手し獨露講和委員がブレストリトウスクに會するや、聯合國が何等牽制的手段を講せず、單獨講和を輕視するが如き態度に出でたるは、無策の甚しきものにして、是れ其の遺算の四也。過激派政府をして彼が如き無政府主義の暴力を逞うせしめ、全露を擧げて獨逸の跳梁跋扈に任じ、聯合國の使臣、萬一の僥倖を機とし遂に國交斷絕の決心に出づる能はざりしは、優柔不斷の甚しきものにして、是れ其の遺算の五也。獨逸が過激派政府の委員を掌中に翫弄し、依然條約を無視し、講和談判を破裂せしめ名として、戰鬪行爲を再開し疾風迅雷の勢を以て、ペトログラードに進擊せむとするに及で、周章狼狽、俄に出兵論を唱ふるも、抑も亦遲からずとせずや。

〇我が帝國も、從來聯合國と協同動作の結果、對露策の方針を確定するも、之を實行に顯はす能はず、動もすれば毎事其機を失し終始聯合國の後塵を趁はむとするの觀なきに非ざりしもの、吾人の遺憾措く能はざる所、而して今や東部平和の任務に對し、一大覺悟を要せざる可からざる時機に到着したり。是れ豈に聯合國並に日本民族が一大自覺を要せざる可からざる時に非ずして何ぞや。

◉南北滿洲視察所感　朝鮮郵便規則の改正如何

遞信局通信課長　矢野義二郎氏談

（一月中旬以來滿洲各主要地旅行中なりし矢野遞信課長の歸來談に曰く）南北滿洲を巡遊して概括的に感じた事を述べると總ての規模は遙に大きい

▲土地の廣漠なのは勿論各驛各地市場などに於ける商取引などの模樣を見るに單に朝鮮とは一桁もそれ以上も違ふやうである又大連奉天長春などの各地を見ても活氣のある事は十分に窺はれた唯其の活氣が堅い根柢を有してゐるものであるか怎うか時局の影響に際會しても依然として續くものであるかどうかは幾干か疑問であらう要するに滿洲は規模も大きいし土地の活氣も現在の所慥にありと思はれるけれど怎うも單調と云ふ言葉で大抵なものは言ひ去られる樣にも思ふ又一景色に變化がなく

▲朝鮮の沿線を見た目では慥に單調である、生産物も大豆高粱と石炭と鐵などを除くと殆んど數ふるに足るものがないやうである、朝鮮の樣に各種の産物が多樣に出來るのがよいか又は滿洲の如く幾つかに集中してゐるのが何れが有利か其の可否如何に就て予は俄に斷じやうとは思はぬが兎に角生産物も單調と云はざるを得ぬ又朝鮮も其點はありと思はるゝけれど、滿洲の旅館や料理店に行つても飲食物に變化の乏しきを思はざるを得なかつた、予の視察の主要目的たる通信上より見たる滿洲は如何と云ふに數字を擧げての話しは後日に讓るとし大體に於て

▲居留民の數の割合には利用力は朝鮮より發達してゐるやうである、又一般の好景氣が如何に通信上に現はれてゐるかと云ふに電話の如き大連では六百圓と云ひ奉天でも四百圓を唱へてゐると云ふ事である朝鮮では比較的滿洲より架設を容易にするからとて云へぬ事もあるまいが斯樣な電話の價値は未だ曾て聞かない所である、之れは一例だが通信利用力が滿洲の狀況に遲れ活氣立つてゐる事を證ふに足るではないか、支那人がいかに通信機關を利用してゐるかは

▲多少調査して頗る心強く感じたが、色々の關係上公にし難いのが遺憾である又内地[illegible]長春地方は日本の[illegible]多少動搖し[illegible]露國出兵說のため[illegible]建物を造つてゐるなどの事を聞いてゐるが事實長春は甚だ平靜であると思はれる樣な動搖は認められない唯遼陽の師團長が見えたり都督府の參謀長が來たりそれがいくらか時局關係より出たのであらうと思へば思へぬ事もないと云ふ位である、尚序に四月一日以降内地で

▲郵便規則の改正を行ふ事になつたので朝鮮も改めるかと云ふに今回改正の趣旨は幾干か從來よりは一般の便宜を圖つてはある、例へば[illegible]表面の二分一を通信文に[illegible]期限延長など便宜を圖る事は從來が約三分の一と云ふ事になつてゐたのであるから必らずしも三分の一書いたものでなくては受付けぬと云ふ譯ぢやない其他の件も今後研究して改正するか否かを極める譯であるが要するに[illegible]ねばならぬ程切要なものではないやうだ

◉橫斷航路命令

朝鮮總督府の特別會計豫算案は八日貴族院を通過可決確定せしを以て日本海橫斷の命令航路は總督府より近く朝鮮郵船會社に命令を下すべしと

〇哥薩克兵驅逐さる

過激派軍二千の兵はダウリアにて完全に哥薩克兵を東方に驅逐し哥薩克側死者三十負傷者四百餘を出せるよりセミヨノーフ將軍は將校三百兵士三百を率ゐて滿洲里に向へり（長春特電）

〇張軍騎兵郎坊著

張督軍麾下の騎兵一箇中隊七日天津を通過して郎坊に到着せるが張督軍の目的が北京に在ること愈々明白となれり（北京特電）

〇林公使出發　朝鮮經由

九日午後七時東京驛發歸任の途に就くべき林駐支公使は十日京都に下車十一日同地發十二日下關より聯絡船にて釜山に上陸朝鮮滿洲を經て所要を果し二十日頃北京に入る豫定なりと（東京特電）

〇野澤旅團長南行

數日前重要任務を帶びて北京へ赴きたる楊樹屯駐在野澤旅團長は八日朝北京より來奉大連へ向け南行せり（奉天特電）

〇川上理事長春行

數日前北京へ赴きたる川上滿鐵理事は八日朝北京より來奉直に長春に向け北行せり（奉天特電）

◉府豫算と下水工事

京城府に於ける大正七年度豫算は本月九日を以て漸く編成を了し直に道廳に向け申達する所ありたるが時局の影響を受け奔騰に奔騰を重ねたる諸物價其他に原因して著るしく其の

▲編成難を訴へたるが就中府營生産事業に使用する馬糧の如きは昨年當初豫算に比し約三倍の騰貴を示し其他人夫賃の昂騰等に據り一般事業費其他は例年に見ざる膨脹を告げ本年度府豫算額は五十五萬餘圓を算するに至れり而して學校組合豫算の如きも前年度に比し約八萬圓の增額を示し今や京城府及學校組合豫算を合すれば總額

▲約百萬圓に達せり而して本年度京城府事業の主なるものは下水整理にして之れが豫算額として十二萬六百圓を計上内六萬三百圓は國庫補助額一萬五千圓は地方費補助額殘餘四萬五千三百圓は府費を以つて負擔するものなるが本事業は五箇年間の繼續事業にして總額六十萬三千圓を以て京城市街に於ける下水の幹線を築造し市街を貫流せる旭川、淸溪川其他主要なる溝渠の

▲浚渫築堤等を完了したる上更に五箇年繼續事業として市街細部に於ける下水の整理を爲すべき企畫なるが第一期下水工事にて幹線を定め第二期工事に於て始めて細部に亘る京城下水工事の整理を完全に終結するものなりと

◉醫官東京出張

内地に於ける醫學研究の爲め本年四月一日より東京市に於て醫學大會の開催さるゝを機とし京畿道慈惠醫院長及び同醫官八氏は七日附を以て東京に出張を命ぜられたり

▲[illegible]

◉鈴木騎兵監

敎育總監部騎兵監鈴木少將は騎兵敎育狀況視察のため上田少佐を隨へ九日朝入京巴城館に投じたるが十日南大門驛發元山を經て羅南騎兵聯隊を視察し再び十五日入京十六十七の兩日間龍山騎兵中隊を視察すべしと

◉關屋學務局長出張

關屋學務局長は七日學事視察並に公立學校長會議臨席の爲め往復十日間の豫定にて慶尚北道管内へ出張を命ぜられたり

◉高橋武官歸任延期

東上中の高橋武官は九日東京出發の筈なりしも用務の都合に依り出發を二三日延期せる旨其筋に入電ありたり

◉竹崎氏出發

前大邱府尹竹崎六次郎氏は八日午後零時二十分大邱驛發列車にて出發歸東したるが官民多數の見送りありたり（大邱）

◉鐵道青年會講演會

朝鮮鐵道青年會にては九日午後七時より龍山同會舘にて講演會開催大村書記長の『京城市場問題』布施知足氏の『近時の復辟問題』の講演あるべしと

人事消息

▲中山千秋氏（遞信局技師）八日附を以て東京、神奈川、千葉三縣へ出張を命ぜらる
▲鈴野忠武氏（總督府事務官）九日より黃海道管内へ出張
▲小原歩兵中尉（咸興聯隊附）九日午前内地より歸任
▲清水仁三郎氏（前代議士）八日午前入京
▲[illegible]
▲古田幸三郎氏（京畿道警務部副官）八日夜平壤へ
▲太田少佐（憲兵隊司令部高級副官）八日午後東京より歸任
▲島山平壤覆審法院長　九日午前平壤へ
▲中山大邱覆審法院長　同歸京
▲前大邱覆審法院檢事長　九日朝退京
▲朝倉外茂鐵氏（辯護士）所用にて大邱へ出張中の處八日夜歸京

彼れ此れ

◇三月三日過激派委員と中歐同盟委員との間に、調印交換せられたる講和條約文に依れば、過激派は、北芬蘭ナロワ河口より南方土耳其國境カルス迄、殆ど千五百哩の直線を引き、其以西の地を、中歐同盟國の自由に委し、東は波斯灣への[illegible]。是れ獨逸多年の希望にして、又た英國の心臟を衝くの[illegible]。

◇[illegible]

祝陸軍記念日　京城長谷川町五八番地　株式會社帝國公債信託朝鮮支部　電話長二五三四番

祝陸軍記念日　龍山榮町（電話三二六番）　藥種賣藥度量衡販賣　椋橋八十吉　雜貨商　椋橋勝次郎　産婆　椋橋ミネ

祝陸軍記念日　津田組　津田辰次郎　京城府漢江通十一　電話六三九番

祝陸軍記念日　中島組　中島早太郎　京城漢江通一三　電話二六四番

祝陸軍記念日　龍山停車場前　太陽館本店　電話一六番

祝陸軍記念日　朝鮮京城府元町一丁目　山田製飴所　電話七一九番

祝陸軍記念日　小寺組　小寺忠一　京城府漢江通十一　電話長四五五番

祝陸軍記念日　龍山兵器廠隣　杉本齒科醫院　電話一七番

祝陸軍記念日　兵用圖書各種印刷用達業　京城漢江通八　井上欣治　電話五三三番

祝陸軍記念日　京城黃金町二丁目　日清生命保險株式會社朝鮮支社　電話長一四九六番

十一月一日現在

陸軍記念日の盛典

一般市民の為に諸兵聯合演習

▽騎兵の高等馬術を行なひ更に
▽兩聯隊を開放して縦覧に供す

式場には盛んなる餘興の催し

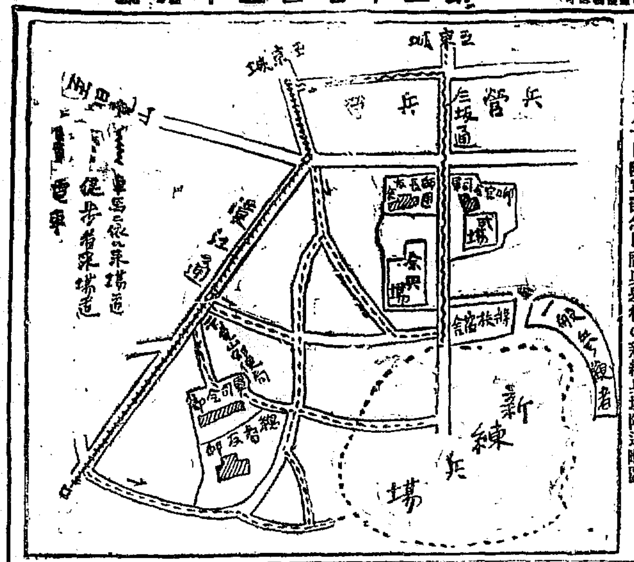
陸軍記念日祝典は愈々十日午前十時々盛大に擧行さるゝ事となれり

◆煙花の合圖 既報せし如く當日は新練兵場に於いて歩兵七十八九兩聯隊並びに野砲兵騎兵各一個中隊參加の諸兵聯合の演習あり市内各學校生徒及び一般市民の観覧を許す事となり居れるが右の聯合演習は當日雨天の場合は自然中止となるべく愈々擧行決定の場合は當日午前八時を期して龍山公園銃砲臺附近に於いて煙花二發を打揚げ以てその合圖と爲すべく新練兵場にありても高等馬術の開始、演習開始の場合には何れも煙花を以て豫報すべしといふ

◆演習の開始 練兵場に於いては正十時を以て軍樂隊の奏樂と共に騎兵の高等馬術開始され約二十五分にしてこれが終るや三十分頃より演習に移り十一時終了それより參列各學校生徒に對し左記の順序にて軍事講話を開始するに至るべし

▲元師團司令部將校合同宿舎構内にて 京城高普、同醫學專門、同工業專門、京城中學、善隣商業各學校約一千百名、以上池内大佐
▲操練場にて 高等女學校、女子技藝學校約八百名(竹内中佐)
▲新練兵場にて 京城高等普通、養成高等普通、普成高等普通、徽文義塾各校約千五百名(小林少佐)
▲同所にて 京城女子高等普通、淑明、進明各女子普通學校、同漢文學校約六百名(梁原中佐)
▲同所にて ▲南大門小學校外内地人小學校十校約三千八百名(宮錄大佐)
▲同所にて 龍山普通學校外三十二校二千三百名(三戸少佐)

◆三月十日陸軍記念日祝典擧行の新練兵場附近略圖



式典の次第 と各種の餘興

右の通りにて練兵場の祝典が終るや來賓は軍隊側の接待委員の案内にて式場なる軍司令官々邸に趣けば同所には正午より餘興として
△(一)久保中尉對西村中尉△(二)川田主計對工藤少尉△(三)北谷中尉對細木中尉△(四)木崎主計對實滿中尉▲(五)橋本中尉對土橋中尉▲(六)田代中尉對高橋中尉▲(七)馬屋原中尉對西山中尉▲(八)新井理事對井上中尉▲(九)柏原大尉對多田大尉▲(十)門根大尉對眞山大尉
等の將校軍刀術試合あり零時三十分より煙竹合圖にて來賓入場此の間奏樂あり席定まるや主人側を代表せる偕行社長としての松川軍司令官の挨拶ありて開宴、それより來賓の祝辭、君が代の奏樂、天皇陛下萬歲を三唱等あり隨意解散する順序となり居れり右の式典終るや當日の呼物たる兩聯隊下士卒並びに軍、騎、砲、各隊聯合

▲軍刀術試合 十人組及び歩兵七十八九兩聯隊下士對抗の銃劍術試合、以上各部隊選抜力士の角力、博多仁輪加等は師團司令部構内に於いて一時半より開始せらるべく該餘興は一般來賓は勿論觀覽券所持者は何れも觀覽し得べし

兩聯隊開放

市民の縦覧隨意

△七十九聯隊は新しい △建築法を用ひた營舍

記念日當日新練兵場に於ける騎兵馬術諸兵聯合演習と共に市民一般のために軍司令部にては歩兵七十八九兩聯隊を開放して一般の縦覧に供すべく而して歩兵第七十九聯隊は昨年十月を以て新設されたる新營舍にして兵營建築としては近世の最も進歩したる樣式に據れるものにて一見し置く價値は充分あるべく観覧者に對しては聯隊にても能ふ限り説明の任に當る可と

大阪に疑似 鼠疫發生

目下試驗中

大阪府下西成郡豐崎町南長柄にペストの疑ひある患者一名發生せしより目下眞僞試驗中なり(大阪特電)

阿里山 山火事

損害四百萬圓

五日朝より臺灣阿里山に山火事起こり一度鎭火し更に六日朝發火損害額三百七十五萬圓に達すべし(臺北電報)

▽猶盛んに燃ゆ 汽車煤煙より發火

臺北電報=臺灣阿里山森林に二十六日山火事起り八日午前迄に約五十町歩を延燒し猶盛んに燃ゐつゝあり原因は鐵道機關庫の煤煙より發火せるものなりと(東京特電)

疑問の露人

◆元山に滯留してゐる 辻褄の合はぬ電報 鰊買收の爲めといふ

去る二月十五日著列車で來元した一人の外人があつた、同人は浦鹽在住露人と云ふ觸込みで其名をイサック、クリインビン(?)と稱し其日著するや直に大東館に乗込んだ、抑も

◆來元の目的 は何事にあるか同人が半可通の英語を振り廻はして語る處を聞くと何でも二月九日に浦鹽を出發して鳳山丸で敦賀に上陸すると直ちに東京から横濱大阪神戸と旅行を續けて元山に遣つて來た此地では今日此頃鰊の漁期であるから其鰊を買收して米國に賣込むんだとの言分であるが同人は其後大東館に約十日間を滯在したが附近に

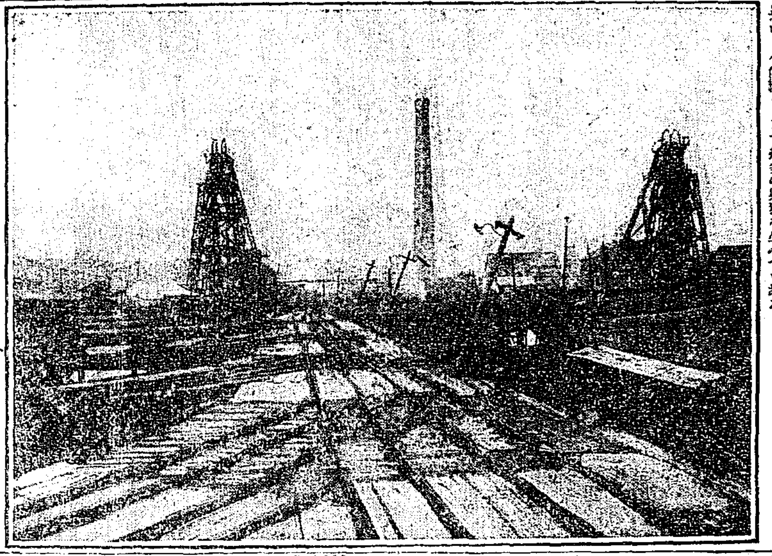
◆一軒の空家 の有る事を知つて其所に引越し其處を根據として通辯一人を雇入れ鰊の買入れに著手して居る、茲に同人に關して不思議な點は夙に日本金で約三萬圓も所持して居る事と浦鹽に居る彼女に『無事で居るから安心しろ』と云ふ電報を打つた事、更らにツイ此一週間程前の事だつた上海の某所に宛て

◆『鰊百五十萬尾買入れた』 と云ふ電報を發した事である元山近海今年の不漁は到底鰊一萬尾は愚か五千尾も獲れて居ない江原道附近ならば或は本年中三四十萬尾の漁獲があつたにしても同人が之等と取引を開始せる模様は少しも無い事は事實である夫れに浦鹽より最近の情報に據ると同地には鰊が山を成して腐る程有りウスリー灣の如き今や將に漁期に入つて居る更らに

◆米國に送る 可き鰊は缺乏み最近米國より輸入されつゝあるを見るに於ては同人が個々元山に來つて鰊買を爲す事の夫れが奈何にも不思議でならない(元山)

大疑獄發端 製鐵所二瀬出張所

事の起りは八幡製鐵所の二瀬炭鑛の請負師が明期の遲延で引致されたのが『官吏を酒を呑んだり茶屋に同祭するのは日本の習慣で、藪生でも、どこでもやつてある』と云つたために、この大疑獄の發端となり、今尚續々として幾多の疑獄を生みつゝある



野田署長

遂に收監さる 擴大した疑獄

七日休職となりたる前福岡警務署長野田勇氏は疑獄事件に關聯し福岡地方裁判所豫審判事の令状に依り八日午後五時拘引收監されたり(門司特電)

大阪鐵工所 家宅搜索さる

久留米より來阪せし棚木檢事は大阪鐵工所築港市太郎外數軒の家宅搜索を爲せり(大阪特電)

浦鹽疑獄發生

商議副會頭拘引

浦鹽來電=最近浦鹽商業會議所副會頭以下二十五名拘禁内外商工業者も拘禁の形勢なり(大阪特電)

牛毛織の發明者(一)

▽白石助教授は斯う語る

京城工業專門學校の白石助教授が牛毛織と稱する立派な洋服地を發明した事は朝刊紙の通りであるが白石助教授は斯う語る

牛毛を有益に發明し度い――と思ひ付いたのが發明の動機

◆洋服屋から大口の取引註文がある

牛毛をモット有益に利用して見度い出來る事なら何か織つて見度いと斯う思ひ付いたのが這回の發明の動機である、ソレには先づ原料となるべき牛毛の狀態なども調べておかねばならぬと思つて

◆永登浦の 皮革會社に行つたところ、同社でも内々牛毛の利用法を研究中だと云ふ話し併し未だコレは思ふやうな利用法がないので、牛毛は悉く東京ウール會社と特約し、殆んど捨て値同樣に賣り拂つて居るが立派な利用法さへあればウール會社との契約は何時でも取消のみならず

◆場合に依 つては大なる設備の下に事業を起しても好いと云ふ事だつたので、自分も非常に心強く思ひ愈々腰を入れて發明に腐心する決心をしたのである、斯く決心すると同時に内地に渡り牛毛が如何なる程度にまで利用されて居るかを

◆研究して 見たが一番多いのはスリッパ、靴拭ひ、絨毯の裏と云つたやうなもの、稍々進歩したところで古綿を交ぜた毛布位のものである、此毛布は露西亞南洋などに輸出せられるさうだが實に粗悪極まるもので此外に牛毛を主とする織物と云つては毫も見た様がない、

◆見當らぬ ばかりでなく、東京の高等工業ですら斯く研究した様がない、所で自分は愈々完全な織物を織り出す事に腐心した

先づ牛毛を丹念に集めて粗毛と細毛を選り分け

◆細毛で糸 を紡いで羅紗を織つて見た全く始めての事なので却々思ふやうに行かなかつたが工夫に工夫を重ねる中多少自信のある洋服地が出來た、羅紗の方は幾分收縮方が足らず延びたら延びたなり切りと云ふのが缺點であるが綿を多く交ぜた

◆合服地の 方は柔軟の程度、強力、色合共に誂へ向きに出來た、自分は其見本を少許り織つて洋服屋へ見せたが非常に評判がよろしく、何れも口を揃へて幾らでも取引するからドシ〜拵へて貰ひ度いと云つて居る

◆京城中學校 入學試驗の成績發表

合格三百八名 四百九十三名の中から

本月四、五、六の三日間京城中學校に於て施行された入學試驗の合格者氏名は九日發表されたが午後一時になると數名の小使が構内の掲示板に合格者の氏名を貼りつけ長い〳〵紙を貼りつけ結果如何にと待構へて居た數百の受驗者は

◇一度にどつと馳せ集つて押合ながら 『やあ、あつた』『君は合格だ』など大騷ぎ、父兄も大分來て居たが中には心急しく電報を打ちに行つた人もあつた、受驗者四百九十三名の中合格者は三百八名、其中百五十八名は新設中學校に收容される事となつたが京城中學校の方では最高點は櫻井小學校尋常六年生の片山徹君で九十二點、合格者の最低が七十五點、之を昨年に較べて見ると

◇最高點は二點ほど低かつたが平均點は同じ位、新設中學校は最高が八十五點で最低が六十二點であつた、栗崎校長曰く『本年の成績は頗る揃つて宜いのも無いがはりに點數は平均して居た、最低七十五點の者は頗る多數であつたが、其中から小學校に於ける成績や、見込みを參酌して二三名の者を合格者の中に入れたが、其他のものは

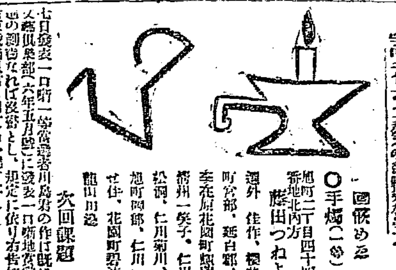
◇同點でありながら失敗の憂目を見た者は同情に堪へない次第である、各地小學校の中で一番多くの合格者を出したのは西大門小學校であつた、鮮人受驗者十三名の中五名合格したが其中には八十七點(十一番)と言ふ好成績を得た生徒があり、忠南の郡參與官の令息の柳見澤雄三郎、四郎は兄弟共に合格した』

入學式は四月二日午後一時授業は五日から開始さる可く制服制帽なぞは慌てて調製せぬやう總て學校で指示したやうにされたい

◉妙心寺提唱 長沙洞妙心寺別院にては十日午前十時より大謀書堂禪師垂狀の提唱あり參聽隨意

□美人間諜 記事編纂につき本日休載

讀者文藝(一等には五十錢の賞品券を呈す)



一圖 版める
○手燭(一等) 旭町二丁目四十四番地北内方 藤田つねよ
選外 佳作、櫻井町宮部、延白郡、李光屈花園町鄭翻、瑞州一笑子、仁川松洞、仁川菊川、旭町岡郎、仁川いせ伴、花園町碧流
次回課題 龍山川邊

讀者文藝課題及募集規定
七日發表一口啣一等當選者川島氏の作は既に文藝俱樂部(六年五月號)に發表一口啣地當選の剽竊なれば改錯とし、規定に依り右告知京城磯貝君に同賞品を呈すべし

□募集規程 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲一等…

天氣 曇り但し小雨(九日午後六時發) 三月十日

商況

東京期米特電
兵庫期米
大阪三品特電
大阪株式特電
大阪期米特電
下關期米特電

雜報

◉在品漸次に減退 愈々十二圓に上
◉大豆漸く上向へ
◉値頃問題
◉内地製粉氣迷
◉利喰筋の苦肉策
◉買方は手控へ 上引續き投物
◉千切大根強硬 一俵十四圓唱へ
◉製茶は漸騰
◉番茶は品拂底甚し
◉千瓢は強靭へ
高見越し市中小賣値 新茶相場
野州産五十錢乃至一圓高
◉綿糸布又動安 尚九十五圓三十五錢と後電紗
十七錢五厘 五厘安
◉正米小弛む
三銘十圓九十七
約二十錢方の下押
此邊漸く折合
尚多少の下押
◉鹽酸加里暴落 十圓方安を唱へつゝあり 五十三圓
◉大麥益々上向
◉東豆腐強調
下關相場
下澁の成行を示し 五錢と保合の裡に
▲正米高原因 高見越しに外ならず 時局問題 鮮人の思惑熱は殆ど熱狂的 期日の切迫に連れ正米の蒐集を急ぎ

南大門の廻穀
仁川正米
釜山穀物(八日) 高値保合を唱ふ
仁川期米
▲九日前場(保合下澁る) 大阪天候晴天 昨止より十一錢先安の入電 二十二圓五十一錢と六錢安に寄付
仁川取引所 九日の五月限

市場雜觀

是等の買付一巡せる限り正米界の緩和は望まれず
思惑者は意外の失敗を見る
國米の大輸入と相俟つて反對に暴落の變現象
仕手の位置を轉倒
一時不勢外強硬を示した跡
更に氣迷を深く
賣方主力にての大賣 警戒
賣狙ひ居り買方
一千石の大商

田中金兵衛商店

露國秩序維持と日本
◇時局の進展は刮目に値すべし

六日午後八時半安東發の列車は延著の結果九時十分發奉天に向うた、停車中の時間を利用して歸任の途なる秋山青島民政長官を車室に訪問すれば

▲里心の京城　イヤ是れは大きに……折角だが今日は御覽の通りと指で咽喉を示し蜜寢のお蔭で痛めて仕舞つて瞼眼り聲が出ぬと嗄れたる聲にて尙ほ元氣に語りて曰く京城は永年住んで居たから一寸立寄つても里歸りの樣な氣がして如何にも懷かしい、それに昨夜は宴會が都合四つあつて寢たのが今朝の四時、それで汽車中で一寸横になつたら此の始末、ナニ青島の民政問題で、例の支那の事だから何とか云はなければ名分が立たないからの事だらうよ、是れも張合があつて却つて面白い

▲滿洲は如何だ　處で滿洲の方では近來大分文句が多い樣だがどんなものだ、安東も景況が直つたと云ふ評判だが領事館の周圍の空地は全部建物が出來たかネ、此の度も出來る事なら一寸下車して見たいと思つたが八日の榊丸に乘らなければ一週間程後れにやならぬから今回は見合せだ、濟南には前の安東領事の吉田氏が赴任される樣だが追々には安東對青島の交渉も密接になつて來るだらうよ

▲時局と我帝國　ナニ時局問題が大に緊張して來たつて、それも左樣だらうよ、目下の露國の現狀は實際形容するに言葉がないではないか、是れで完全に秩序が保たれ公安が保持されて居樣とは何の方面から見ても肯定は出來ない、そしてだ、獨逸の勢力が潮の樣に東漸して來て見給へ聯合國の一ツ、東洋の盟主とも云ふべき我が帝國の執るべき進むべき方途は一あツて二ツない立場に立つ譯であるのは今更らの事ではない、ナニ、鳴物が入らないと兎角動事は面白くないものだ

▲北京訪問は其內　安奉線は此れで四五回通過したが彼の釣魚臺附近の景色はなか／＼善いが今回は夜行だから殘念だ、濟南には一度行つた限り、北京へは未だ行かないよ、ナニ歸りに立寄つたら、それも左樣だが大分仕事が滯つてるから此の度は見合せ何れ其の內に出直して行く事とするよ、安東にも又通過する時には立寄つて見るつもりだ

●機庫書記から 鐵道長官
─何時の間にか ホルワットの後任

東淸鐵道長官ホルワット氏並に各幹部が去年の十二月十七日に過激派の命を奉じない爲めに罷免されたことは世間周知のことであるが何時の間にか其の後任の任命があつたこと、◆後任者が 誰れであるかといふことは餘り知る人がないやうである、然るに近著の露字新聞を見ると今年の二月二十日(日本暦)にクーチヤといふ貝加爾鐵道聯隊の一兵卒上りの男が任命されて居る　この男は去年の秋まで哈爾賓機關庫の薄暗い中に汗と煤だらけになつて働いて居た鐵道の一書記であつたのだが◆過激派に 加擔したお蔭で未だ赴任こそして居ないが名義は立派な東淸鐵道コンミツサー(執政官)となつて居ることが知れたこれ等の事實から見ると今の露西亞は如何にしてこれまでの秩序を根柢から破壞しやうかに苦心して居るものと思はれる、何故ならば秩序ある頭の人が◆秩序を破 壞しやうといふことは寧ろ建設の夫れよりも困難であるが秩序などゝいふ觀念のない人間を頭に戴けば其の人間のすることなすこと夫れ自體が秩序の破壞であるからである。

●仁川の金融界
鮮銀支店調査

◆上中旬　前月は越月早々內地米價益々好調を傳へ買註文の入込みと共に移出相應にありて米穀資金の需要絕えず又一方鮮支人側は舊節季前とて各種決濟資金の喚起ありて金融稍々繁忙を呈せるも中旬は舊正月に入り鮮支の取引閑散にして此の方面資金の移動見る可きものなく月末は輸出制限令及び外國出兵說に內地米は動搖上下したるが當地は夙に內地商事情に煽られ又鮮米買占說の流布せられたる折柄廻米も依然遲々にして在荷稀薄なる爲め相場は大豆雜穀とともに連日昂騰し內地と全く逆行の足取を顯はし殊に定期に對する大口◆資金の 移動あり金融亦多少の緊縮なきに非ざりしも綿絲布糖粉油等の諸雜貨一齊に荷捌不振の爲め恒例の月末小需要を見たる外金融は極めて平調に越月せり是を當地に於ける四銀行月末帳尻に徵し前月と對比するに預金に於ては九十六萬圓貸出にては五十二萬圓を孰れも減少せり◆貨物の 集散狀況　其他に就て謂へば一月末より米豆の搬出は增加し來れるも尙ほ一般に農家の富裕と目先の強硬なるとにより出盛りの態にて依然市場は在荷薄によりて相場も強氣一方に推移し殊に月央よりは內地商事情と鮮米買占說により累日昂騰を來せり卽ち月初神力上玄二十圓所のもの末は順次商唱へに遂に二十二圓十錢所を唱へ前月より約二圓方を◆上進し　又大豆も益々強硬に月末は長端大豆十五圓四五十錢位あるにして三圓以上を前月より躍進せり其他雜穀も伴れて高値を顯出せり而して月末在庫高は玄米三十二萬、白米八千、大豆三萬四千叺其他雜穀共計三十七萬八千叺にして之を一月に比し十三萬叺の增加せり輸移入品は舊正前必需品の鮮人支那人向荷動好況を呈せるも舊正月明けより閑散の狀態なり

●仁川近海漁況

二月中仁川近海に於ける漁況は頗る閑散にして一月の狀態と毫も變化なく例年二月は年中を通じての閑散期なるを以て水揚量は從つて僅少なり唯僅かに鰮漁に於て昨年同期に比し八百餘貫を增加せるのみなるが釜山方面よりの委託品も亦頗る減少せり之れ漁場に於ける不漁と內地相場の昂騰の結果多くは內地移送を爲す結果著しき委託品の減少を來せるものなり而して漁業船等も頗る減少して日本船及び朝鮮船各六隻に過ぎず之等の水揚高亦僅少にして日船三百九十圓鮮船三百三十圓を算するのみ委託品は四千六百四十一圓に達し數量の減せる割合には價額騰貴の結果其の收入は差したる減少を見ず今二月中に於ける重要魚類の平均價格を示せば左の如し(一貫目)鯛一圓五十錢 鰆(?)一圓二十錢 海鰻(五十錢) 鰈四十錢 …(仁川)

●簡易商業專修學校 卒業生の待遇に就

一般の理解を要求したい　熊谷專修學校長談

▼社會の待遇　學校の卒業生が社會に於ける待遇の如何は直ちに以て其の學校の面目に影響する處が尠なくない而して卒業生の技倆如何は卽ち學校の價値であり此の意味に於いて簡易商業專修學校の卒業生が今日迄如何なる待遇を受けて來たか尤も此の▼卒業生は 他の學校と趣きを異にして其の境遇が多くは下級の店員であり或ひは官廳の給仕商家の子弟であると云ふ具合で殊に學資の供給者が時に或ひは雇主であり會社であり會社であると云ふので一般と同樣に遽かに其の待遇を改むる事の出來ない多くの事情を持つて居る事もある之等の理由に依つて今日迄著しく卒業生の價値を其の待遇の上に認められた者が尠ないのは誠に以て▼遺憾とする 處である斯の如く其卒業後の待遇に於て生徒が學問を資本化する事の出來ぬ樣では好學心に尠なからぬ影響を來すのは云ふ迄もない之等の弊を除去する爲めに一つは學校自からの爲めにも將來は尠なくとも適應の智識を養つた者に對する待遇の方法に就て一般の同情ある理解を要求したいと思ふのであるそして將來は此の種の教員機關を▼より善く 改善して以て一般商家の子弟に對する教育の普及を圖りたい之に就ては先づ現在の狀態に顧み出來得る限り適當の方法を講じなければならぬ第一必要とするのは入學の獎勵である之れが各商店主雇主の教育に關する思想を先向上せしむるの必要があるかも知れぬ併して現今に於ては教育觀念の缺如せる結果入學當時は▼相當の人員 を收容しても漸次中途廢學の者を生ずるの事は未だ一般に雇主其他に於て確實なる教育思想が無い爲めに基因するのではあるまいか次では生徒をして學校其物に興味を有せしむると云ふ事は教育者の忘却すべからざる必須の要件であらねばならぬ單に好學心にのみ依つて生徒の通學を維持するの不可能なるは生徒其者の境遇が▼別種の狀態 にあるだけ頗る離しい事とする事は爭はれぬ事實である之に就ては現在の教養の外更らに學校に於て適當なる趣味の催しを行ひ或は講演會或は商品陳列何なる音樂會等の催ほしも亦可なる一法たるを失はぬ市民が本校に對する注意を一層深く喚起するのは將來學校の發展に第一の必要條件であらう現今にては餘りに其の存在の▼價値に就て 一般の觀察は或は冷淡であるかも知れない殊に生徒の雇主に對して最も深く本校の事業に理解を持つて貰ふ事が現在に於ける第一の急務である事を信ずるのである本年は簡易生徒は約六十名位の收容を爲すの考へであるが現在の在籍生徒數は第一學年卅八名二學年十三名で之を職業別に擧ぐれば一學年店員十一名給仕八名農一名商七名無業一名第二學年店員六名給仕四名商家三名である而して之等の生徒の成績に至つては今年は殊に良好なるを認むるのである(仁川)

●平壤ではモウ 初物が出た

○胡瓜、茗荷、獨活の初物

平壤市場へ兩三日前花丸胡瓜の走りを到着せしが二十錢位の物一本三十錢を唱へ居れり其他茗荷、濱防風等の走りも夫々市場に現れ居れり又た夏蜜柑も數日前平壤松山林商店へ初入荷ありて引續き非常な人氣を見つゝあるが相場は極めて強硬を保ち目下七十個入三圓を唱へ居れり

●卒業生引張凧

仁川商業專修學校は今回十七名の卒業生を出だすべき豫定なるが各地よりの申込頗る多く引張凧の狀態に在りて却て之が配當に困難を感ずるの有樣なり而して目下確定したる就職先に就て見るに共益社二名朝鮮銀行四名第一銀行京城支店二名滿鐵京城管理局一名スタンダード石油會社朝鮮支店一名京都同志社大學志望一名東京商業一名內國通運京城支店一名早大志望者一名東拓京城支店一名自家業二名等にして頗る優良なるが而しも尙ほ同校は豫科再設手續中にあるが兩三日中に許可あり次第一般に生徒募集を爲すべしと

●生徒實地見學

仁川商業專修學校本科三年生は既報の如く市內商況調査に從事し過日來各商店銀行に就て實地の見學を爲し來りたるが去る一日は仁川郵便局に於て總ての郵便通信事務を見學し各掛主任の詳細なる說明に依り得る處尠なからしが更らに電話交換の狀況を見學し二日は河野本店に就て朝鮮向諸雜貨品に就ての見學を爲し河野主人自から多くの生徒を相手に實地に就て詳細なる說明を與へられ之が爲め生徒の裨益する處尠なからざりしと尙ほ同店に之等も學の催ほしに對し非常に厚意を以て迎へられ今回の同店に見學せし時の如き多くの生徒に茶菓を供せられ最も懇切に生徒の爲めに盡力せられたりと

●仁川の川柳會

中村柳倚坊其他の諸氏主として之が斡旋を爲せる仁川川柳會は來る十日陸軍記念日午後六時より仲町柳倚坊宅にて開催宿題は「純」三句持寄のこと

●寺院と教會

○日本組合京城基督教會(南米倉町)三月十日午前九時半日曜學校及び聖書研究、松本雅太郎氏午前十時半禮拜説教「人生と敬虔」宮川牧師午後七時半「宗教思想の新」山本牧師　…

○日本メソヂスト京城教會(旭町二丁目)「神の前に現はる人の價値」午前十時半大島正健氏「エリヤ傳」午後七時半大島正健氏

○救世軍の集會九日(土曜)午後八時本町二丁目商業銀行前にて「汝等の何處に」…

○京城日本基督教會(長谷川町)三月十日午前九時半日曜學校同十時半禮拜説教…金子牧師

●春きて運動の シーズン來る

◇民間でもドシ／＼行り玉へ

◆柔かな春光漸く大同江の水面に輝き渡ると郊外散策の群が乙密臺の松の木の間に繁くなる、春の眼醒めと共に江畔の町には運動のシーズンが復活されて來た。然し在來の運動競技なるものは學校、銀行、鐵道といふ一部の人々の間に行はれるたのみであつて府民一般的の物ではなかつた。◆併し一の銀行會社に於てすらも運動に興味を持つてゐる人は誠に微々たるもので一のテニスコートも僅かな有志の專有物に過ぎなかつた、それを以ても總ては推して知る事が能きる。◆人口は日々增加し、市街は日々膨脹發展しつゝある。將來唯一の工業地と期待され、また信じてゐる平壤の人々は、府の繁榮と共に健全な氣風を誇り得るやうに努力せねばなるまいと思ふ。些少の慰安機關もなく娛樂場も設備されてゐない平壤に於ては、張り切れんばかりに充實せる精力を消費すべく遂に妓樓に夜を徹し、紅燈綠酒に親しんで何時しか身心は頹廢し空しく敗殘の悲境に淪落して了ふものが尠しいことである。社會に奮鬪する者は其の向上を計る裏面に健康な運動によつて心身の鍛錬を忘れてはならないと思ふ。◆あゝシーズンは來る！茲に於てか予に一策がある、商店側にも宜しく實業團を組織して盛に學校、鐵道、東亞煙草、官廳などを向ふに廻して、テニス、野球の試合をしては如何(平壤)

仁川米豆取引所

▲九日後場　大阪前止め暴落後寄安の入電に當限一十二圓四十錢先四十錢と十五錢安に寄付三十五錢と辷り四十錢　△先限一節二十二圓四十錢三十八錢九錢六錢五錢七錢六錢七錢八錢七錢八錢七錢八錢九錢四十錢三十九錢八錢九錢四十

九日の四月限

●連絡船上陸客

八日午前入港新羅丸上陸二三等客

[illegible]

演藝案內

▲下旬付「寮先は」
十二日　十三日
十三日　十四日
十四日　十五日

大正館
櫻井町　電話八七三

本稻畑商店合資會社特約代理店

三月八日より特別大寫眞

○米國パシフィーク會社作…
○漫畫　…
○新派悲劇「幼き母」全四卷
△山本…
○大活劇第六「鐵の爪」十一十二篇
△日本…
○舊劇「騷動」淺野大膳」全四卷

黃金館
電話二二六三七、二二六六

○太閤…
…全三卷

浪花館
明治町一丁目　電話二六〇番

○京阪落語鮮樂會…
▲落語(遊三)▲手踊(歌六)▲落語(花輔)…

有樂館
電話二二〇番

稻荷座
本町五丁目

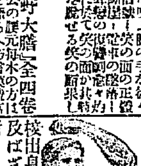
…佐倉宗民傳…水戶黃門…

會員募集

月收九十圓內外　三百圓以上

本講義は畏くも天覽の榮を賜ふ

本院に鍼灸術、按術マッサージ電氣術を開業試驗程度にて速成し…



無代進呈

特典の有る

日本鍼灸專門學院

東京市本郷區…

賣却公告

…京畿道

產婆養成所

生徒募集

福岡病院內

告 龍山分會員

三月十日龍山新練兵場に於て陸軍記念日祝賀會舉行セラレ候條分會員ハ午前九時四十分迄ニ同練兵場ニ集合相成タシ

龍山分會

職業

日收壹圓

特約店募集

二葉商會本店

診察

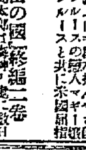
自午前八時至午後九時

內科　小兒科

京城南米倉町

岩崎醫院

電話二七六一番



金鈴香油

一滴千金　滋潤にして發育をます

尋ね人

山梨縣北都留郡大原村大字小原

長幡泰次郎

右事件心配無し至急居所知らせ

兵役に關係あり

猿橋親戚

祝陸軍記念日

純正高麗人蔘エキス製造元

日新社製藥研究部

京城本町四丁目百卅三番地
電話一七五八番
振替京城四七四八番

祝陸軍記念日

京城本町二丁目　株式會社第一銀行京城支店　電話長一一番

京城本町一丁目　株式會社百三十銀行京城支店　電話長五八番

京城黃金町二丁目　株式會社十八銀行京城支店　電話長四二〇番

京城南大門通二丁目　株式會社漢湖農工銀行　電話長五二四番

京城南大門通二丁目　株式會社朝鮮商業銀行　電話五五八番

京城南大門通二丁目　株式會社韓一銀行　電話長一八九五番

京城南大門通二丁目　株式會社漢城銀行　電話長一八六一番

京城本町二丁目　株式會社京城銀行　電話四三一番

移轉御披露

從來南山町三丁目廿九番地に於て營業罷在候處今回業務擴張の爲め南大門通二丁目百卅五番地へ移轉致同時に出張所を支店に改稱仕候間此段謹告候也

大正七年三月十日

京城南大門通二丁目百卅五番地

鑓喜一郎京城支店

電話長二三〇三一五〇番

祝陸軍記念日

京城新町遊廓

組合員一同

祝陸軍記念日

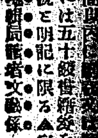
(イロハ順)

今村精米所　電話一四〇六番

龍山精米所　電話長一二四番

待井精米所　電話長八一二三一八番

天日精米所　電話長三四三番



塚原卜傳

悟道軒圓玉口演

第十一席

丸目藏人に失禮な事はしまいかと念を押されて三名の若侍〇『へエ』と言つた切り隅の方へ小さくなつて居る、塚原か小『イヤ別に何も仰しやられぬが唯最兩三年ミッシリ修業をすれば物になるだらうと仰せられました』藏『ナニ左樣な事を申したと……イヤ怪しからぬ奴だ無禮を申すにも次第のある貴樣達こそ兩三年修業をいたさなければ物にはならん白痴奴が〇『ヘーッ』藏『之れへ參つて御詫をしろ塚原氏、何卒御勘辨に預りたい』小太郎笑つて小『イヤ御言葉では却つて恐縮、お互に武藝は死ぬまでが修業でござる、まだ／＼拙者杯も修業盛りの者御門弟衆の御意見が却つて身の藥でござる』と何事にも腹なぞは立たぬ柔和な小太郎でありますから三名の門人も恐入り其場へ來て代々詫を致しますると、藏人が藏『塚原氏には赤城へお上りでござるか』小『赤城に上るかと仰しやるのは……』藏『イヤ豫て御承知でもござらうが毎年三月三日當赤城明神の神前にて諸國の武藝者が集まり、源平に分つて紅白の旗取勝負をいたし、三年續いて打勝つたる者に弓矢を與へ、而日本一の額面を上げさせるといふ有名な試合がござる』小『ハア其れは豫てより承はつて居るが師伊勢守殿は假令試合を好み給はぬに依つて我々もつひに登山した次第がござらぬ』藏『如何にも仰の通り拙者も此度初めて登山いたす、仔細といふのは當國箕庭の住人にて當時上州の麒麟と稱さる、樋口十郎左衞門の伜、同苗十藏光吉、已に二年の試合に打勝つて對手に立つものなく、今年は弓矢を受け、日本一の額を奉納するといふ噂さ拙者京都にあつて之れを聞き、同じ上州の住人として上泉一門の人々ならば兎も角も、箕庭の樋口に日本隨一の名を奪はれては師の恥辱此上なく、且亦常時足利將軍義輝公武藝の師を求め給ふに就いて、當國赤城の試合を聞し召され、今年弓矢を得日本一の額を上げたる者を召し上せ、師範役として厚く扶持し給はんとの思召、拙者之れを承はり熟々考へるには是非とも今年こそは上泉の門下の者の中に勝を取り天下の師範役と仰がれねば此上もなき恥辱と、固より師に申上げれば名聞を忌給ふ伊勢守殿お叱あるに相違なく密々にて登山なし及ぶか及ばぬかは存ぜねども十藏光吉と一手の勝負を試み、有無の運を天に任せんと思ひ立ち、さてこそ上州路へは罷りながら箕輪にも立寄らず直ちに之れまで立越しましてござる、仔細と申すは右の通り就いては何と塚原氏、貴殿と拙者とは一つ家の下に枕を並べた兄弟弟子、年齢は拙者が兄なれども武藝に於ては貴殿が兄、此處にてお目に懸りしは何よりの幸ひ、之れより赤城へ登山なし日本一の晴勝負に、十藏光吉を見事打込んで弓矢額は固よりの事、將軍家のお招きに應じ、天下の師範役と仰がれて上泉一門の名譽を輝かしては下さるまいか、之れは丸目藏人がお頼み申すのであるが何んと御承知下し置かれなば望外の喜びでござる』と丸目藏人が言葉に力を籠めての頼み、師を思ふ一念に羽黒の難所も厭はず斬込んだ位の小太郎上泉一門の譽に相成事いかで異存のあるべき小『師名を思ふ丸目氏のお言葉何んで違背仕りませうや、不肖なれども小太郎罷つて樋口に敗は取らぬ所存、見事打込んでお目に懸ける』藏『然らば御承引下さるか、其れは何より直に御同道申すことに致さう』と丸目藏人喜び勇み、塚原を伴つて宮城村を立出で、直ちに赤城を差して上つて參りましたが、愈々之れより赤城明神の旗取勝負日本一の晴れの場所に、小太郎勝負妙手を揮つて十藏光吉と立合ふといふ當講談二の切、是より愈々佳境に入ります。

皮黴科 外科 專門 扇田醫院 京城太平通二丁目 電話二二五八番

かみゆい教授會 三ケ月卒業教授の元祖 卒業一生嫉視 衣裝美髪法教授 京城本町一 京城婦人需等美髪學會

書画用 絖画絹 京染呉服商 たまや出張店 京城水標町二 電話一九六六番

三月十一日 九星
舊正月廿八日 丁巳
本命六白 乾 平 大安

[illegible]

▲書籍御案內▼
岡本米藏版 三版 商工界の七十日 價五〇 郵税六
同 二版 修學行商日記 價三五 郵税六
同 紐育市外の地所 價九〇 郵税六
京城大平通壹丁目 京城日報代理部 電話長六六〇、三二六番 振替口座京城三〇〇番

◉安全確實に儲かる

◉三百圓で千圓內外の利益◉
―此の期間僅かに十日間―事實が之れを說明する―
▽疑ひ深い人は儲からぬ△

「銀行や郵便局へ金を預けて置く位なら勸業債券を買つた方が好い、年五分の利子が取れて其上に籤が引けるこ云ふので近頃大分勸業債券を買ふことが流行してゐる、處が籤なぞは仰々當るものではないから其中には『ナンダ馬鹿々々しい』こ云ふ氣になつて

◆兩替屋 なごへ持つて行つて賣買にして了ふ人が隨分あるが、これは甚だつまらぬ事である。同じ債券を買ふこしても、當にならぬ籤なごに眼を奥れなければ大に儲かる方法がある、其方法は何かこ云ふこ、先づ籤の濟んだばかりの債券を搜して買ふ、籤の濟んだばかりの債券は市價が低落して、時には十圓券が九圓何十錢こ云ふ安値で買へる、それを三四個月も持つて居るこ復

◆抽籤期 が來る、スルト十圓券が十一圓位迄も昂騰するこがある、それでも買手が澤山あるから、其時節に買つて置いたものを賣れば、一枚に付二圓內外の利益、十枚なら廿圓、百枚なら二百圓儲かる譯である、籤なごを當にするより此方が餘程よい、併し慾を云へば勸業債券なぞでは未だ／＼儲けが少い、資金があれば其金で確實な銀行會社の株券を買ひ、少しく頭を働かせて行の方法を應用すれば自分ながら驚く程の利益が得られる、勸業債券では一枚に付高々二圓位の利益に過ぎないが、株券だこ安い時に買へば

◆一株で 百圓も二百圓も儲かる、一例を舉ければ日本郵船株式會社こ云へば子供でも知つて居る日本一の大會社である、前期は七割の利益配當をして居るが、この會社の新株は去る十月廿五日の値段百八十一圓であつた、其時買つて置くこ僅か十日後の十一月五日には値が上つて二百七十三圓五十錢になつたのだから、其時に賣れば差引一株に付九十二圓五十錢、十株で九百二十五圓の利益が得られたのである。

◆十日間 に僅十株で千圓近い利益が有つたこは實に驚くべき事實ではないか、若し又賣らずに持つてゐても會社から年二回五割こ云ふ莫大の利益配當が來る、斯の如く郵船新株券を買つて儲けるには十株で千八百十圓の資金が必要であるが、それ丈の金が無ければ出來ないやうに思はれるが、此處にそれだけの金を積まなくこも、一株卅圓で十株三百圓の手付金を出せば同株十株を買占めて置くこが出來たのだ、そして十一月五日に賣れば矢張り前こ同じ九百二十五圓の利益を得られるのである

◆三百圓 の資金で僅か十日間に九百廿五圓（三千圓）の利益！こんな面白い金儲けは株券賣買以外には無いこ云つても宜からう、以上は本ンの一例に過ぎぬが、其他の會社の株券なら如何なる株であつても、大抵一株四五圓から廿圓內外の手附金で買つて置けるのだから、少し

◆上手に 買ひさへすれば僅の資本で前例よりももつと／＼利益が得られる、何こ云つても我[illegible]のお蔭で我國には神武天皇以來見たこもない幾十何億こ云ふ金が入つたのみならず今後も毎月何千萬圓こ云ふ金が這入つてくるのだから大戰の株券はまだ／＼値が出る、その株券も高い時に買つたのでは利益が少いが、今日のやうに安くなつた時に買つて置けば必ず利益がある、儲けた時は今である、現に昨年來

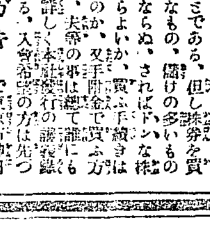
◆本社を 信じ本社の會員になつて株券を買つた方々の中には隨分儲けた人が澤山あつて、その狀況は殆んど山をなす盛況である、若し疑ふ人あらば本社へ來て實況を見れば分ることである、但し株券を買ふにも確實なもの、儲けの多いものを選ばねばならぬ、されば如何な株券を買つたらよいか、買ふ手續きはドウするものか、又手附金で買ふ方法はドウか、夫等の事は總て詳細に分るやうに詳しく本社發行の說明書に書いてある、入會希望の方は先づ

◆ハガキ で東京市神田區一ツ橋通町八株式會社富國世界社へ『有價證券研究會規則送れ』こ申込まれよ直ちに內容のよく分る印刷物を無代で進呈する（小西富國世界社）

胃が丈夫

であれば體力も強健になる、頭腦も明晰になる而して有ゆる活動にも頗る容易に堪得る樣に成る、胃を丈夫にするには我陸軍の五大軍醫が合同して製劑した健胃劑中の王と云はるゝ胃活を服むに限る

胃病良藥



定價 胃活壹圓、五拾五錢、貳拾五錢
本舖 東京日本橋本銀町 山田安民藥房 大阪南久寶寺町二 山田安民藥房

倉庫完全 債券買入 質 京城櫻井町二ノ一六 舊花園町 杉本質店 電話三一〇三番

濟經新藥 レスノリン 月經 閉止四五ヶ月以內と雖確實の通經作用を顯し且容易く服用の目的を達し得られ他藥に優越せる效果を有す 送料內地三錢 滿洲朝鮮 說明書呈 大阪北區 三丁目三六 發行所 常盤藥院

(Patented in Japan, Great Britain and U.S.A.)

MITSUWA COD-LIVER OIL DROPS.

MITSUWA COD-LIVER OIL DROPS. 120 Drops in a bottle ...... ¥ 1.40
MITSUWA COMPOUND COD-LIVER OIL DROPS. 100 Drops in a bottle ...... ¥ 1.40

Mitsuwa Cod-Liver Oil Drops are round-candy drops of small size, fragrant and pleasant to the taste. Each contains a guaranteed amount of one gram of Cod-Liver Oil. In its nourishing quality, taken without taxing the stomach, taken in so small a size, the Mitsuwa Cod-Liver Oil Drops far surpass any other cod-liver oil preparations on the market.

Mitsuwa Compound Cod-Liver Oil Drops differ in that they contain one-half amount of Cod-Liver Oil and are supplemented with the effective element of iron, phosphorus, lime and quina.

▽甚しき臭味を忍びて、肝油を飲用すべき時代は去れり▲
▽咀嚼して美味無臭、容易に定量の肝油を食用し得べき▲

本邦及英米國政府專賣特許滋養強壯料
河合龜太郎氏創製

◯肝油ドロップス

◯肝油ドロップス 肝油含量一顆一瓦にして麥芽糖及可溶性含窒素物を以て成る滋養強壯料なり。
◯複方肝油ドロップス 肝油の含量を半減して、有機鐵・有機燐及び石灰・規那等を含有せしむ。

肝油含量一顆一グラム 一日二回乃至三回服用

五歲以下	一回一顆又は二顆	一日二顆乃至四顆
十歲以下	一回二顆又は三顆	一日四顆乃至六顆
十五歲以下	一回三顆又は四顆	一日六顆乃至八顆
大人	一回四顆又は五顆	一日八顆乃至十五顆

用法 普通菓子の如く食すべし又錢を以て細片に割りて或は微温湯にて嚥下にするも妨げなし

定價 五十顆入一瓶金七十錢 百二十顆入一瓶金一圓四十錢 複方百顆入一瓶金一圓四十錢 內地以外は郵税送料を加ふ

肝油が一般の虛弱者、腺病質、結核性諸患者、榮養不良に起因する腺病患者、腺病質の兒童等に對し、治療上缺くべからざる滋養劑として、內科、小兒科等の醫家に處方せられ、卓效を奏するは、醫療上の定論なり、然れども其特有の臭味、甚だしく不快なるが故に、其服用を嫌忌せらるゝを慨し、河合氏多年苦心研究の結果形狀洋菓ドロップスに似て、麥芽糖及び可溶性の含窒素物を基礎とし、一顆毎に精製純良の肝油一瓦宛を正確に含有し、乳化完全にして、分布極めて細密、美味無臭にして而かも容易に食用し得べき「肝油ドロップス」を創製す、本品は從來の肝油諸製品に優り、服用に頗雜なる手數、攜帶の不便、變敗の迅速なる等の缺點なく、殆んど本質の肝油たる事を忘れ、兒童は勿論何人も好んで食用し得ると、酷暑の候と雖も冬季と異る事なく、消化吸收の作用頗る良好なる事とは、本品の最も優秀なる特色とする所なり。

▽如斯人は滋養料◎肝油ドロップスを用ふべし▲

一、顏の色が蒼白くて弱々しき人
一、皮膚の紋理が荒くザラ／＼してゐる所謂あれ性の人
一、身體一般に貧血してゐる人
一、是といふ病氣はなくても何こ無く弱く惡口に罹り易い人
一、筋肉の目立て痩せてゐる人
一、手足が冷て疲れ易いといふやうな虛弱い人
一、色が蒼くて肉痩せ、而して活潑ならぬ所謂腺病的の小兒
一、頸が細長く、顏が瘦け、咳嗽や痰の人、痰が多く出る所謂結核素質のある人
一、筋肉を太らせ、無病壯健に、元氣よく活動せんとする人
一、身體一般に脂肪分の少き人
一、顏や手先きを滑こくし度人
一、產前產後病後の滋養を計らうとする人
一、骨の故障卽ち佝僂病其の他種々の骨病ある人
一、營養不良から來れる眼病例へば夜盲症や網膜貧血に罹れる人
一、腺病（瘰癧）に罹れる小兒
一、右の外種々の病に罹つてゐる人の滋養物として理想の良食物である

ミツワ石鹼
ミツワ椿油
ミツワ家庭藥
規那鐵葡萄酒
肝油ドロップス

發賣元 ◎ 東京市日本橋區橘町四丁目 藥劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問屋 發賣 商號 丸見屋商店 電信略號〇ミヤ 振替貯金口座東京七一〇番 藥部電話特長浪花三〇、四四八、四四九、四五〇番

新古麻袋麻絲 小麥粉袋製造商 ◉鑛山用麻袋 精出勉勵可仕候 御注文願上候 門司市外大里 合資會社石川商店出張所

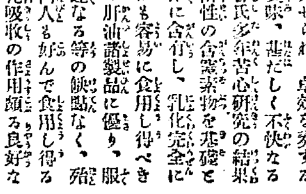
朝鮮諸官廳受驗叢書 全成完部

京城專修學校敎官 安達大壽計著
▲朝鮮諸官廳 受驗提要 全一冊
▲受驗必携 朝鮮公文解釋 全一冊
▲受驗必携 朝鮮六法要論 全一冊
▲受驗必携 朝鮮行政法規大意 全一冊
▲朝鮮諸官廳受驗者必携 會話譯文速成 正續全二冊
▲朝鮮諸官廳受驗者必携 作文軌範 全一冊
前高等普通學校敎官 阪上綱吉著
▲朝鮮諸官廳受驗者必携 法律問答 全一冊
▲朝鮮諸官廳受驗者必携 法律講義（大倍） 全一冊（特價七十五錢）

以上定價各四拾錢 送料各一冊金四錢（法律講義は定價送二倍）

本受驗叢書は專ら朝鮮に於ける諸官廳受驗者の爲に著述したるものにして、在來提出せられたる各種試驗問題は勿論今後に於ける試驗問題として適切なる事項全部之を網羅し、而も當局の方針に則り極めて懇切明確なる模範的の解答を施したるものなれば、受驗準備として最も適合せること到底他に其類を見るべからず、以て何れも發行以來嘖々たる好評を博し、凡そ受驗者として此等の書を手にせざるもの無きの狀況を呈せり、現に朝鮮總督府及所屬各官署に於て施行せらるゝ判任文官見習、雇員、警部、巡査、看守、其の他各種の資格並に採用試驗に應ぜんとする江湖の諸士は、宜しく本叢書を座右に備へて各受驗科目の學修上の迅速と正確とを期し登龍門を開扉するの資格を一日も早く有し給はんことを祈る。

賣捌所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部



効能 一、逆上を引下げ便通をよくし 黴毒其他諸毒を下す
効能で賣れる
七ふく
大日本大阪高津 振替大阪七三三

診察時間

自午前九時 至午後六時
初診の御方は可成午前中
京城長谷川町一丁目（朝鮮銀行裏門前）
シメノウチ齒科醫院 電話八一二番

弊社は約三十年間廣告代理業を以て唯一の營業とし從て各都門と內外樞要の地に諸種の廣告機關を有せり御一報次第廣告案內差呈す切に御利用を乞ふ

部門 意匠、文案、翻譯、顧問
直接取引新聞 內地新聞 朝鮮滿洲 三百三十餘 英米支那 印度南洋 百五十餘
全上雜誌 內外各地百四十餘
屋外廣告 大阪市內掲示場數百ヶ所
代理店 倫敦、紐育、市俄古

廣告代理業 大阪高麗橋四丁目 萬年社 電話長九〇九六・一九〇六・一九六二 東京・京城 支店

京釜線（南行）（北行） 京義線（南行）（北行） 京仁線（仁川行） 京元線（北行）（南行） [illegible]

京城日報

三月十日朝刊（朝夕刊併せて八頁）

本紙定價　△一部金二錢五厘△一ヶ月金五十五錢△郵税一ヶ月金十五錢△三ヶ月分金二圓△前金に限り……
廣告料金　七字詰一行……
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　京城日報社　電話番號……振替貯金口座京城三〇〇番

第五版

仁川　期米

陸軍記念

奉天占領當時の我軍の戰利品

祝陸軍記念日

京城日報

明治三十七年十月、我軍は沙河の會戰に於て露軍に捷ち、北ぐるを追うて奉天に薄り、振古未曾有と稱せられたる大會戰の後、遂に之を抜きしは翌年の今月今日にして、明治大帝の此日を以て陸軍記念日と定め給ひしより正に十三回、吾等は茲に此の佳辰を迎へて、我が皇上の稜威に感激し、光榮ある陛下の雛跡を祝福するの情、彌切なるを覺ゆ。

兵は凶なり、苟も動かすべきにあらず、唯以て天理人道を擁護すべし、我が陸軍は、明治以來、外征數次、名正しく實副はざるは無し、戰へば必ず勝ち、攻むれば必ず取り、極東帝國の常勝軍として、武威を宇内に宣揚せるもの、亦之が爲めのみ、眞に今世常備の天兵義軍と稱すべきなり。

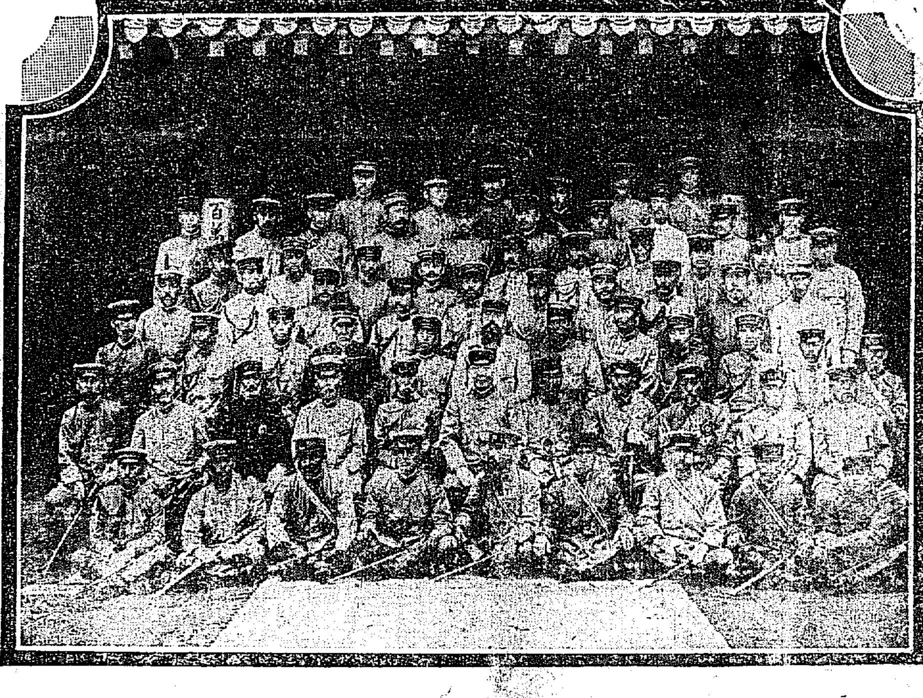
露國に革命起りてより、歐洲戰場の形勢意外の變化を來し、今や露國は竟に獨逸に屈し畢れり、されば久しからずして、敵の勢力東漸し、極東の平和を脅かす無きを保せざるの狀態に在り、否らざるも我は、臥榻の下鼾聲喧しきの感なくんばあらず、此時に方り西部戰線には、獨墺軍其精鋭を集中して巴里を指し、更に伊國國境にては、墺勒軍の壓迫、日に益々加はり、我聯盟軍は之が對抗の準備に急にして、又他を顧みるの遑なく、爲めに英佛兩國の輿論は、極東の事を以て、一に我國の負擔に委せんとし、混亂の露國に在りても、愛國の士は、露國を滅亡より救ふものは、盟邦日本帝國あるのみと爲し、殊に極東露領の住民は、我神兵の來駐を待つこと、恰も大旱に雲霓を望むが如きものありと傳へらる。

世態の推移測るべからざるは、洵に今代の故にあらず、然かも十有四年以前、露國の無道を膺懲するの征戰に於ける我大勝を記念するの日にして、當年の敵國を救助すべく、我國の奮起を慫慂さるゝに會ふ、誰か無量の感慨無きを得んや、遼莫帝國の陸軍は、是よりに多事ならんとす、謹で此日を祝す。

陸軍記念日所感錄舊作　金陵　大垣丈夫

憶起、十萬師。虎龍相鬪瀋陽陲。麗勳殿然暗。隊伍縱橫糾倣馳。寒字凝眸評勝敗。兩邦雄雌。如斯激戰古來少。忽見晴空旭旗。學鴟日　戰烈之狀、歷々如視。

◇奉天總司令部に於ける山縣、大山兩元帥及各軍司令官の奉天占領記念撮影



（向て二列右より）村田少將福島少將兒玉大將奥大將野津大將大山元帥山縣元帥黑木大將乃木大將河村大將大島大佐三列右より山内大尉平井軍醫

近三郎少佐柴中佐田中中佐宇佐川少佐落合少佐大澤少佐岸山主計監山田中佐河合中佐小池中佐（四列右三人目より）田原少佐今井主計正曾田少佐錦方大佐尾野中佐田中佐……（五列右より六人目）田村少佐堀内中佐森中佐蘆原中佐引田少佐（以上は特に思出多き當時の官名を其儘となせり）

錺（かざり）

布施生譯

十四

思惑つてゐるうちに翌日になると普通ならぬ貌をして銀女が客來の旨を傳へてきた、聞けば成程妙な貌をするのも尤、巴里中で疫病神のやうに嫌はれる刑事頭の出暮が訪ねて来たとやら、兎も角も通して用向を聞くと出暮は例の鬚を撚上げながら『今日特別裁判所ます、どうも本人餘程不思議な奴で私共が檢べますと理を推して問詰められる毎に一々答に詰りながら強情に犯罪を否認致します。あれはお前がした事だらう、いゝえ違ひます、では戰地が殺された事情も知らないのか、それは知つて居ります、では其事情はどうだ、それは申上げられません、こんな調子で愈と云ふ急所になると外の點では素直な男が途方もなく強情になつて威しても賺しても果は拷問の道具を並べてみせても恐ろしく顏色は變へながら覺悟して一言も口は利きません、そう云ふ奴いたにせよ、それは宗門の坊樣がお聞になる懺悔と同様私一人の胸に藏めて決して人に漏す事ではございませぬ、折角のお依賴ではございますが此儀ばかりは御斷りもきらせず出暮はむろりと學士の顏を眺めた。

長禮爾の代理として罷出でましたのは餘の儀ではございませぬ、御親切にお心にお懸け下さる例の嫌疑者纏崙の事でございますが本人は昨日貴女にお目に掛りまして以來半狂亂の有樣で是非共もう一度お目に掛り貴女の御面前で白狀致したい事があると申すのでございますが何を思附きましたか狂氣のやうに貴女に會はせてくれ、貴女一人にだけならば包まず白狀しやうと申すのでございます、如何でしやう一つ失禮ながら本人の爲役所の爲御奮發下さいまして聞いてやつて下さいませんか』

出暮が依賴に學士は怒の色を見せて『それは御免蒙りましやう、如何にお役所の爲とは云へ、私どうして哀れな被告を間落す責具になられましやう、私を使つて口證をお取りなさらうとは以ての外、第一恐ろしい其被告の白狀とやらが如何して私に聞かれましやう、假令奮發して聞くには聞

（◇雜誌抄）

◇死人と北枕（リズム新科學雜誌本號所載）

死人は北枕に寢かして魔除けの爲めに刃物を此逆に偏へるやうになつてゐる。之は頭部を北方に向ければ磁氣の作用で吸引され所謂ろ屍體に腐がさして陽出すさいふ現象を呈するからである。又た刃物は磁氣の作用を刃物が身に及ばないからである。

祝陸軍記念日
東洋生命保險會社
京城支店
京城長谷川町六一番地
電話長五一二番

祝陸軍記念日
京城黄金町一丁目
三井物産株式會社
京城支店
電話二六、七四二、一二九番

祝陸軍記念日
北陸土木株式會社營業所
京城府漢江通拾參番地
電話長龍山四五六番

祝陸軍記念日
不二興業株式會社

祝陸軍記念日
朝鮮京城南大門通二丁目
土佐紙會社京城支店
電話三一五番・電略（〇一）・振替京城八五九番

祝陸軍記念日
榮光ある陸軍記念日は來れり
キリンビールに
擧つて大ひに乾盃を擧げ給へ

金銀賞牌廿四個受領

なるほど
美味である
滋養がある
と
賞讃されつゝある
蜂印香竄葡萄酒
よく味つて見て下さい！
必ず他品の眞似のできぬ
美味と滋養が見出され升
毎食前一杯づゝで元氣健康を增進す
蜂印香竄葡萄酒は滋養ある生葡萄酒を素とし補血強壯料を主成分として精製せる優良品なり
到る處の藥店酒店にあり
東京本町
近藤利兵衛

ビールの真味を解する方は
サクラビール
擧つて本品を愛飲せらる

品質優良價格低廉の爲め輸入を防壓し廣く建築界に歡迎せらる
極東硝子株式會社
本社　兵庫縣尼崎市松島
朝鮮一手販賣店
協同組商業部
京城府南大門通五丁目
電話長一四三一七九六番
金網入硝子・廉硝子・雲硝子
磨板硝子・型板硝子各種

第四十回帝國議會（東京特電）

衆議院（九日）

▲豫算委員會 九日午前十時半開會、西野主計局長より大正六年度責任支出額に就き説明ありたる後、村松恒一郎氏（國民）大疑獄事件檢擧は細鱗を獲て呑舟の魚を逸する事無きや又何故警察官自ら捜査に務めざりしや

▼松室法相 犯罪者は誰人と雖も斟酌する事無し

▼後藤内相 警察官の捜査に就きては調査す可し

▼小川郷太郎氏（新政） 聯合國より我國に西伯利亞出兵を要求し來りたるや又非公式に意見を交換したる事ありや

▼本野外相 今日迄の處未だ英佛伊等各國政府より出兵に關し何等の交渉無し意見の交換は爲し來れるも言明する事能はず

▼尾崎行雄氏（憲政） 滿洲西伯利亞出兵に關し外務大臣の説明を聞かん、我出兵は聯合國の好まざる處と既く自發的に出兵を致して疑惑を招かざる樣協定の上にして有利の條件を得て初めて決行す可きものなり又製鐵所疑獄事件の如き官紀紊亂の甚だ敷もの首相は如何なる處置並に責任を執らんとする乎

▼寺内首相 政府は國家に不利を來すを豫知して妄りに出兵を放てするものに非ず、疑獄事件に關係せる官吏の解職は遺憾ながらん事を期し責任を負ふ可きものあらば之れを否むものに非ず

▼尾崎行雄氏 然らば責任を負ふの時機は現在ならざる乎

▼寺内首相 目下檢擧捜査中なれば責任を負ふの必要ありや否や知る能はず其終了を俟たざれば知るに由無し

▼尾崎行雄氏 終了とは裁判終了の意味なるや

▼寺内首相 山本前首相の聲明は知らず予は予の信ずる處を答ふる而已妄斷亦甚し

▼古谷久綱氏（政友） 鴨緑江採木公司に對する拂下問題の法律上の解釋は暫く措き要するに政府は該契約を存置する意思なりや

▼寺内首相 目下考慮中なり斯くて質問を打切り討論を用ひずして採決の結果議題たる大正八年度歳入歳出追加豫算案同特別會計歳入歳出追加案の二案を全會一致可決正午散會

▲本會議 九日午後一時二十分開議

狩獵法中改正法律案 仲小路農相、提案理由を説明し十八名の委員附託

大正五年度豫備金支出之件 同年度豫備金外に於て豫算超過之件 豫算外支出之件 同年度特別會計豫備金支出之件 同年度特別會計豫備金外にて豫算超過及び豫算外支出之件 大正五年度大正三年臨時事件豫備費支出之件 大正五年度大正三年臨時事件豫備費外にて豫算外支出之件 大正五年度帝國鐵道積立金外にて豫算超過支出之件 大正五年度帝國鐵道積立金支出之件 以上八件承諾を求むる件は勝田藏相登壇各案に對し簡單なる説明あり（夕刊に續く）

獨逸東漸と極東

▲首府移轉計畫續行 勞農政府は講和條約調印に拘らず猶ほ一切の政治機關を莫斯科、ニジニノブゴロド及びカザンに移轉の計畫を續行す可く既に五日より外務、交通、大藏等の三省は露都撤退に着手せり同政府は首府を莫斯科に遷すの必要なる事に關し今にも告示を發す可くペトログラアドは自由港と宣言せらるる可し市民續々立退きつゝあり交通機關非常に缺乏の爲め立退者にして鐵道に據らざるもの多しプレストに出張せる露國側全權一行五日歸著、五日夜勞兵會中央委員會に報告提出の筈、講和條約正文は多分六日發表されん、戰鬪行爲は中止され獨逸軍はナルヴア、プスコフ、ヴイテヴスク、モギレフ、オルシヤの線に留り居れり（露都電報）

▲東清鐵道と新協約 東清鐵道に關する新協約支那政府とホルワット長官との間に締結せられしがホルワット長官は日本に該鐵道の經營を委任し聯合國に管理を移さんとの意向なりと（北京電報）

▲浦鹽領事團警告 浦鹽駐在各國領事團は同地官憲に對し官憲が赤衞軍を指揮する限り沿海州に對し貨物輸出の許可を與ふる事不可能なりとの警告を發したり（哈爾賓特電）

▲支兵滿洲里輸送 哈爾賓方面警備の任に當り居りし支那兵は一兩日以來續々滿洲里方面に向け輸送を開始せり（哈爾賓特電）

▲内田大使歸著期 九日午後著電に據れば内田大使一行はイマン驛附近を通過し居る模樣にてニコリスク、ウリスキを經て東清鐵道に依り一兩日の内に哈爾賓に來る豫定なるより八日哈爾賓よりニコリスク迄一行の爲に特別列車を送りたりされど或は内田大使は其一行中に加はり居らずして米國大使等のみには非ざるかとの説あり（長春特電）

▲西伯利交通機關不通 ダウクア西方の鐵道破壞部分は一時過激派軍の手に依りて修復され軍用列車運轉するを得たるも去る五日よりチタ、滿洲里間の交通機關總て不通となり爲めに電信はクラスノミルスク經由となれり（長春特電）

◎滿洲の米價暴騰防止策 朝鮮米輸出制限に對する米價暴騰防止策に就き都督府にては研究中なるが滿洲主要地に於る米消費高は大連七萬石奉天六千五百石撫順一萬一千五百石鐵嶺四千石等にして軍隊は全部にて米一萬七千石海軍米七百石なり右は都督府調査に據る（大連特電）

◎米鐵道隊長崎復歸 過般長崎より朝鮮を經て陸路西伯利亞に向ひたる米國鐵道隊一行は俄に西伯利亞行を中止する事となり近日中長崎に復歸す可しと（東京特電）

◎軍事重要會議 八日午後參謀本部に重要會議開かれたり（東京電報）

◎米國の留紙幣新利用 商品の景品に

暴落した露國の留紙幣が浦鹽方面より敦賀に輸入され更に横濱に轉送し

▲横濱から 亞米利加に輸出されてゐると云ふ事は屢々傳へられてゐる然し亞米利加人が如何なる目的で其の留の買附けをしてゐるかと云ふ事は久しく疑問とされてゐたが最近の情報によると流石は米國人である留の利用につき奇想天外より來る珍妙の考案を出した、一體米人の仕事は現代を超越した其の貿易政策を初めとしてその工業計畫の如き科學的智識の應用よりも寧ろ事業の經營法に新考案をなしかの自由公債の募集方法の如きも其の

▲新奇なる に世人を驚かしたものであるが斯如經營的新計劃は露國紙幣の利用にも施された次第であつて乃ち同紙幣を煙草其他の商品包裝に景品として挿してゐる而して其の留の額は商品の値段により一留より一千留までであるやうだ、留紙幣の價格が下落に下落を重ね今日の所殆んど紙代及び印刷費に等しきに至つてゐる以上その景品としての利用は大に珍妙を極めた策と云ふべく露國の狀態にして回復するものとせば今日玩弄品たる留紙幣は大なる價値を生ずるに至るのであるから投機好きの米人間には

▲留紙幣を景品 とする商品の賣行き盛んな事は想像に難くない序でに一國の發行紙幣が玩具として使用せらるゝ露西亞の運命を悲しむと共に米人の考への自由にして且つ新奇なるに驚ろかざるを得ない（朝鮮銀行某幹部談）

◎東拓貸出近況 稍減少の傾向あり

朝鮮に於ける東拓各出張所の貸出總高は二月末現計七百九十七萬三千五百五十七圓にして之れを前月末に比し三百萬圓の減少となりゐるが右は京城支店勘定となりたる各農工銀行發行の分り受けに係る三百萬圓の債券を本店勘定に移せしためなり又貸出しの新規申込みは頻々あり其の貸出しも遞增しつゝあるが一方米高による一般農家の增收の結果回收亦少なからず從つて彼此相殺總額に於て異動を來さず尙ほ三月末は各公共團體の年度末にて年賦償還資金の回收多き見込に付尙ほ一層の減少を見るべしと

◎羅南兵營工事 解氷期と共に起工さるべき羅南の陸軍工事は今回廣瀬軍經理部長大角主計正等一行の來羅に依りて決定せるもの、如くなるが其概要を聞くに師團司令部は工費十七八萬圓を充てたる頗る宏壯なる大建物にして位置は乙歩兵營舍及び野砲兵營舍の裏手に建築され階行社は各工事終了後に建築するが如く候定地は遞兵分隊後方の地なり此外甲歩兵營内に機關銃隊舍を野砲兵營内に兵舍增築を爲すべく現輕鐵停車場を中心として師團長官舍其他官舍四十餘棟を建築すべきが此等は何れも十一月末結氷期迄には完成の豫定なり尙輜重兵營舍は來年度に於て建築さるべしと（清津）

◎市場問題研究の餘地 卸市場小賣市場の分置に就て

京城中央市場建設敷地問題に關しては既報の如くなるが今其の面積其の他に就て調査したるところを聞くに東拓横明治町の李王職所有空地は約三千九百坪にして外に道路敷地六百坪を加算すれば合計四千五百坪の面積を有し第二候補地たる

▲京城日報裏 兵營跡の國有空地は三千九百六十六坪、第三候補地たる水標橋運河上は水標橋より下本町昌慶苑線との交叉點に到る間河幅平均十五間延長四百間即ち六千坪を算する譯なり而して今一つの候補地たる長谷川町公會堂建設敷地豫定地たる兵營跡の空地は總計一千八百餘坪にして内約五百坪を公會堂に充つるも尙一千三百餘坪の敷地を餘す譯なりと今某消息通の語る所に據れば元來京城にては既に

▲公設中央市場 の建設を希望せる事頗る切なるものあり置に一般家庭のみならず問屋、仲買人は勿論一般小賣業者に至る迄均しく公設市場の設置を歡迎せり蓋し個人經營に非ざる中央市場にして公設されんか各自の信用狀態に多大の好影響を齎らすべく又小賣業者の如きは其の標準價格を一定さるゝ結果販賣價格を公にする機會を得而かも從來家庭に出入する所謂御用聞を通ずる取引の如く掛金に據らず現金に依りて賣買するを得る等の關係より延いて

▲資金の運轉 圓滑を得るものあり即ち一旦公設市場建設せられ販賣價格に制限を加へ公共並に家庭の利益を圖ると共に市價を節することゝあるも何等一般營業者に打擊を加ふる事なく却つて多大の好影響を及ぼすべきは既に何人も論なき所にして乃ち市場問題研究の餘地は寧ろ卸小賣を如何に配置すべきかにあり而かも理論に在りては卸小賣業者が同一の場所に於て取引することは相互に嫌忌の傾向あるのみならず寧ろ當然の事に屬するものといふべし元來

▲卸業者は 小賣業者に比し鐵道其他の交通機關を機敏に利用する必要切なるものあり之等の關係より論ずる時は卸市場と小賣市場は正に分離して建設さるべきものにして例へば卸市場は東拓横の山附近に小賣市場は南大門通を選定すと言ふが如きは一面理想論たる疑ひなし大連に於ける魚市場は卸市場と小賣市場は全然其の經營者を異にし世界第一と稱せらるゝ巴里市場に在りては中央市場を卸市場とし

▲小賣市場を 近郊に分置せる有樣なり勿論經費敷地其他の關係上之等を全然範とする譯にはいかざるも少くとも其の組織だけは採つて以つて實現するに難からざるなり卸市場は一千坪乃至一千五百坪のバラツク式にて格別不便を感ぜざる事ならむも小賣市場は土地の裝飾と云ふ點をも無視せざるべからず又家庭の婦人が快よく直接出入取引を爲すに充分なる設備を備へざる可らざる等の關係より幾分丁寧なる建築を必要とする事論なし從來各地に於ける市場經營を見るに

▲會社等にて 經營せる市場は槪して失敗の傾あり之れ問屋仲買人等が會社を惡用する結果に基くのみならず會社自身資金の融通運轉を爲すと同時に取引の統治者となる結果に外ならざる也

◎工業會社出願 京城光熙門外肥料製造業南山商會は近時其生産品たる硫酸安母尼亞騰貴の爲め更に業務を擴張すべく今回岐阜縣方面の投資者と協議の上二十萬圓の株式會社を組織することに決し其筋に對し是れが認可の申請を爲せりと

◎朝鮮農林許可 豫て中村房次郎外六名より出願中なりし朝鮮農林株式會社は六日附を以て許可の指令ありたり

◎阿部社長歸京 上京中なりし本社長阿部充家氏は十日夜南大門驛着歸京す

◎通信傳習生募集 遞信局にては來る四月十五日より三日間通信乙種傳習生内地人五十名朝鮮人五十名を募集すべしと傳習生は年齡十四歲以上十九歲迄にして入所手當として内地人一日三十三錢鮮人二十五錢を給し卒業後内地人六十錢鮮人四十錢以上の日給を支給すべく試驗は遞信局及び釜山元山平壤各局に於て施行の筈なり

◎六年度山林原野火災 其筋調査に依る大正六年度全道山林原野火災狀況を聞くに原野國有地百六十二回私有地三十七回山林國有地六百三十八回私有地百二十五回燒失反別國有地二萬一千九百町步私有地六百二十町步にして此損害見積國有地三萬九千四百三十八圓私有地五千八百零七圓なり

◎商品陳列館入場者 客月中に於ける商品陳列館觀覽人員を聞くに内地人一千百二十三人鮮人二千六百二十八人外國人二十五人計三千七百七十六人にして之を同月中の開館日數二十四日に割當れば一日平均百五十七人強なる割合を示せり

人事消息

▲藤田伝治氏（戶畑ガラス會社長）九日夜退京 ▲朝倉傳次郎氏（滿鐵社員）同上 ▲原田三郎氏（朝鮮製紙重役）同上 ▲古城梅溪氏 東萊溫泉に靜養中のところ此程歸京

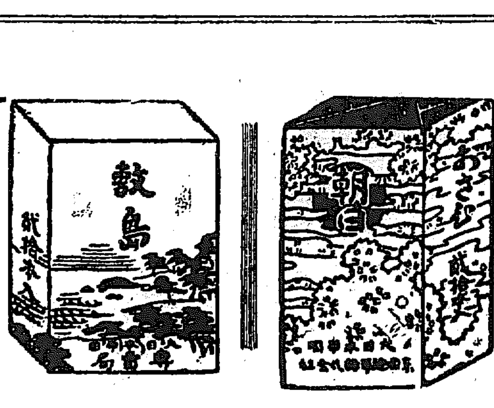
■百聞百種■

獨逸の一億正けの獨逸を觀測して好い事を云つて居る▲一體獨逸の革命は露國の其以前に起るべく思はれたが▲不思議に其影響をも受けず幾何かの暴動が起つた許りだ▲即ち海軍の叛逆と此の間の大罷業を經たが獨逸は未だ安全である▲戰爭が明年迄延びたら乾度大革命が起る事は請合だと▲華盛頓では禁酒令が施行されて居るが足一歩禁酒區域に入ると如何に咽喉がグビついても我慢するより外は無い▲處が他所から持ち込んだ酒なら何んぼ飲でも構はぬと云ふ例外がある▲機を見るに敏な米國商人は同府から三十哩離れた所へ酒造場を設け▲其處からドシ〳〵持ち込んで來るのでバーなどは依然大に繁昌して居るとの事▲飮むなと云へば飲みたいが人情飮むな〳〵でドシ〳〵供給して呉れるから平生より澤山に飮むらるゝ▲禁酒法が却て獎勵法位に考へられて居るとは面白い▲今日は陸軍記念日だ世界の耳目が日本に集中されて居る今日此の佳辰を祝するのは何となく愉快に堪へぬ

群山 ▲府協議會 群山 ▲助獎減額 群山學校組合に對する教育國庫補助額は前年度に比し…

▲船鐵交換經過 …の調査を爲すべしと …船は政府に於て徵發し米國に提供は直接關係無き船舶業者の船を…するものなりとの説は全然誤報に…徵發するが如き事はある可からざ…月渡しと漸次に提供船の調査を爲…して米國大使と交渉することゝなる…題のみを解決せんとの米國の提議…合區域は全羅南道咸平郡鶴橋面…

祝陸軍記念日



代表的煙草よ 汝の名は…人も知る 品質本位の

代表的煙草よ 汝の名は…人も知る 品質本位の

東亞煙草株式會社

祝陸軍記念日

サッポロビール

[illegible]群山學校組合にては九日午後一時より群山府廳樓上に於て大正七年度豫算案に關し協議すべしと▲補[illegible]垣書記長は十二日より京城に開會さるゝ滿鮮商務書記長會議列席の爲め出發の途中忠南公州其他各地[illegible]りの回答を受領して以來各造船所に於て夫れ〲研究調査中なるが世間一部に於て傳へらるゝ交換船[illegible]換とは全く關係無きものにして從[illegible]者に在ては本邦造船業者の爲に政府が管理令を適用して輸入鐵材を[illegible]近く引渡期を五月として船齡二年以内のものを果して何程米國に提供し得可きやを調査し其後は六月七[illegible]て是等の船價も改めて米國大使と折衝するところなれり而して今回の交渉は一先づ既契約品との交換問

◉學校組合新設　全南觀察　學校組合の新設は三月五日附を以て其の筋より許可せられたるが組

◇朝鮮陸軍の首腦松川軍司令官◇

◉一度鞘を拂って奮起した以上は たとへ敗ても最後まで

擧國一致を續けて貰ひたい
記念日に際して國民に望む
軍司令官　松川敏胤中將談

陸軍記念日を迎ふるに方つて特に一般國民に心得ておいて戴きたいことがある、それは外でもないが——と態うまづ前提して九日の午前軍司令部の應接室で謹嚴な松川軍司令官は往訪の記者に語る、近頃擧りに唱へらるゝ國民の擧國一致と謂ひ、或は愛國心と云ふ事は未だ全く試驗をされてゐない、未知數なのである、吾輩が切に國民に訴へやうとする所は卽ち茲で

戰ひに勝を占め

た時は易々として現出され發露されるが、若し軍隊が敗北したときに於いても戰捷の際と同じやうに擧國一致を持續する事が出來て公債の募集に應じ或は出征軍の後援を續くることが能きるであらうか、戰ひに臨んで吾々軍隊は必らず捷つとは決つてゐない、昔から「勝敗は兵家の常」といふ通り勝敗は實際圖り知られぬ

特に連戰連勝こ

いふやうなことは容易に望み得べからざるものとせねばならぬ、現今の露西亞の如く軍隊は敗ける、それがために國が亂れるといふ有樣では實に寒心に堪へないではないか、苟も一旦劍を拔いて起つた以上は飽くまでも戰つて最後の勝利者たる事を期せねばならぬ、卽ち戰の始めから最終まで擧國一致を續けて貫ひたいのである、熱し易く冷め易い吾が國民には果して此覺悟があるだらうか又幸か不幸か吾々日本人は

日清戰爭の時に

も日露戰爭にしても敗戰の苦き經驗を味はつたことがない、卽ち以上の問題について前にもいふた通り勝つた時の擧國一致は譯もなく能きるが一度敗ければ直ちに妄想を逞かされるやうでは困るのである、その時々の罷なる勝敗によつて擧國一致が動搖するやうなことが若し假りにありとすれば甚だ遺憾であると思ふ、軍隊にしても敗けやうと思つて敗けるのではない以上、若し

敗戰した時には

更に後援を續けて終局の勝利を收めさせるやうな方法を講ずるやうに心かけて欲しいのである、要するに戰ひに際して國民は徹頭徹尾擧國一致を續けて有終の美を爲さんことを希望するのである。

◉敵前で熟睡

▲百年の壽命が一度に延びた
鈴木騎兵監談

入京中なりし鈴木騎兵監は奉天戰當時を回想して曰く

奉天戰の回顧——詳しい事はもう大抵忘れて了つたが、左樣彼の當時吾輩は第二軍の參謀として奉天の西に居たと思ふ、激しい塵でね、一寸先も見えぬ位だつたが天佑と言ふのであらう、九日になると急に風向きが變つて、其塵が皆敵の方に飛んだので我軍は非常に仕合せした何しろ乾坤一擲の會戰なので參謀部はチツトも油斷がならぬ、絶えず敵の動靜に注意して其要をかく作戰計畫を樹てねばならぬから却々寢る暇などはない、吾輩なども十二三日と云ふものは一睡もせず兎に與つたが九日になると何うしても辛抱し切れず、其處へブツ倒れたと思ふと三四時間許り前後も知らずグツスリ寢込んで了つた、此時の心持ちの好かつた事は百年の壽命が一度に延びたやうな氣がした、有名な激戰だけに死傷の多かつた事は驚くばかりである、當時步兵などは餘り敵の砲擊が激しいので散兵した儘六日間は前進する事も後退する事も出來ない同じ處にジツとして居たが此中の半數以上は何時の間にかやられて居た、後から捕虜に聞くと少しも死んだものとは見えない、矢張り立派な散兵線に見えたさうである、大笑ひさ…

◉祝盃も擧られない 奉天陷落のその夜

滿洲軍總司令部幹部の窮狀
氷室のやうに冷たい狭い浴室とそして十六疊敷に兒玉、福島、井口、松川四將軍の雜居

松川將軍は更に話頭を轉じて曰く奉天戰爭の時は第一線に最も近い所から四里ばかり離れた煙臺といふ小さな村落の燒酎店の一室に滿洲軍總司令部が置かれて、そこに明治三十七年の十月十日から翌三十八年三月十五日

◇奉天入城　の時迄居つた、當時の總司令部には故人となられた大山元帥に兒玉大將が總參謀長として居られ將官參謀としては井口、福島の兩大將と吾輩の三人が居り、大佐參謀には田中義一中將、小池安之中將、尾野實信中將などが居つた、總司令部になつてゐた家は實に狭いもので兒玉、井口、福島の

◇三大將こ　吾輩の四人で二間に四間位の細長い一室を占領して起臥して居つたが、この狭い部屋の中央に十文字の通路があるので吾々は疊二疊に漸く一人の割合で寢具といつては毛布だけ、頗る窮屈な思ひをしたものだつた、入浴場はあるにはあつたがこれもやつとアンペラと高粱で圍ひを作つて中に風呂桶を置いたに過ぎず奉天戰の前などは非常な寒氣であつたことゝて

◇圍ひの内　側は湯氣のために一面の厚氷、洗ひ場にも氷が張詰め三尺四方位の所に漸くで入浴をしてゐるやうなのには閉口したが今となつてみれば却々面白い、食事には餘り不自由はしなかつたが、それでも吾々後方勤務の者は前隊が物資の徵發をしたあとにばかり行くので却つて不便を感じた次第であつた、しかしながらこれらの苦痛は實に纖かなもので吾々の最も心を痛めたのは

◇豫備隊を　全く使ひ盡し前線から來る豫備隊の派遣請求に應ぜられぬ爲、戰況がいかに惡化するも唯手を束ねて自然に任さねばならぬ時と戰況が發展せぬ時である、然らいふ事を痛切に感じたのは七日の日であつた、しかし七日の晩から八日の朝にかけて敵は退却を始めたのでやつと胸を撫で下ろした次第であつたかといふことは

◇總司令部　に居るもの、常に感じて居るところであつた、奉天陷落の報が總司令部に初めて達したのは十日の午後九時半頃で、その確報に接したのは翌十一日の午前八時頃であつたが、この時の愉快さは今に忘れることの出來ない一つである、しかもこの時には旅順陷落の時とは異つて更に前進を續けねばならぬといふ大責任があり且つ總司令部には一滴の酒さへ無かつたので遂に祝盃を擧げることも出來ない始末であつた

☘今十日陸軍記念日の演習統監富塚七十九聯隊長

◉露警備艦 清津に來る

‖鮮人送還の爲に‖
◇在浦鹽鮮人窮乏す

漸く日露國交の危機に際し本月四日の朝といふに清津港に軍艦に擬ふ船體を鼠色に塗りマストに無線電信を仕掛け

▽露國の國旗　を飜へして加之武裝した一汽船が入港したので時節柄大騷ぎとなつたが同船はヤカウトと云ふ八百噸の露國の警備船で來航の目的は朝鮮人の送還と云ふのであつた乘船の朝鮮人は清津上陸九十二人城津上陸一百二十二人合計二百十四人で清津上陸の鮮人を上陸せしめた後同夜南行城津にて同地上陸者を上陸せしめ翌五日清津に引返し更に

▽浦鹽に歸航　の筈であつたが都合に依り城津行きを中止し五日午後城津上りをも清津に上陸せしめ七日迄清津碇泊同夜浦鹽に向つて出帆したのであつた右ヤカウト號が鮮人を送還するに至つた理由に就て同船にて歸還したる金秉學(三五)は曰く露國々内の騷擾日を逐うて甚だしく爲に各種の事業は殆んど中止の姿となり延いて浦鹽に於ける多數の

▽鮮人勞働者　は何れも其職を失ひ折角貯蓄して歸鮮すべく奧地より浦鹽へ出て來た者も浦鹽北鮮間の航路が杜絶した爲め一日三留と云ふ高い宿料を出さねばならぬ事となれるより在浦鹽鮮人町の有志は在留鮮人刻下の窮狀を露國の官憲に訴へ官憲にても其窮狀を察し警備船なる

▽ヤカウト號　を鮮人送還の爲めに提供する事となり漸くにして同船に乘込み歸鮮したのであるが尙浦鹽に於ける鮮人の數は家を構へたるものが約二千名寄留者約四千名を算しこの外に戰線から歸還したものが約四千名程もあるが露國の騷擾が依然として熄まぬ

▽戰線に在る　ものも續々浦鹽に歸つて來るので鮮人勞働者の窮狀は今より一層甚だしく窮乏其慘狀は名狀すべからざるものがあると因に今回の歸還鮮人二百三十五名の所持金は六萬九千七百三十五圓で最も多い者が四千留であつたが一體に所持金は少い方であると判つて見たれば何でもないがヤカウト號は武裝をして居た上に時節柄にて官憲の監視をさく〱怠らず乘組船員の露國人は一人も上陸せしめなかつた(清津)

◉藝妓毒藥自殺

生命は取止む

大邱村上町貸座敷大和主藝妓蓮事内野はるの(二二)は八日夜十一時頃自宅に於て稀鹽酸約二十瓦を服用自殺を圖りたるも死にきれず直に吉村醫院に入院したるが生命には別條なかる可しと原因取調中(大邱特電)

◉押送された 布目係長

‖大疑獄連類者‖
◇新聞記事を否認し乍ら非常に神經を刺戟されてゐた◇

八幡製鐵所收賄事件の連類者として滿鐵會社鞍山站製鐵工場準備係長布目四郎吉(四二)は六日午後九時頃逮捕せられ同夜は大連民政署内に留置せられ七日午前十一時發の嘉義丸にて内地に押送されたる件は既電の如くなるが布目は昨年六月中村都督の紹介にて八幡製鐵所

◉勅任技師　より滿鐵に入社し來りたる同工場準備の一段落と共に滿鐵會社より米國視察を命ぜらるゝ最初よりの約束にて既に二月八日附を以て向六箇月間米國留學を命ぜられ同社の方は既に夫れ〲書類等の整理もなし遲くも三月十日前後には大連發其の旅程に上る筈にて夫れ〲暇乞等をなし居たりし處を突然

◆逮捕押送　せらるゝに至りたるを以て滿鐵會社にては社員上下を通じて愍惘し居れり、同人は昨年六月入社の際より單獨生活を營み居りて大連ヤマトホテルに止宿し同所より本社に通勤し鞍山站工場準備の事務を執り居りたり同人は逮捕されたる當時懷中に二千餘圓の現金を納め在りしが身柄と共に重要書類も押收せられ鞍山站工場施設に關しても既に二三の

◆不正行爲　有りたるものゝ如く傳へられ居れり同人の平常は極めて別段放蕩を爲すと云ふ方にも非ざるも時々意外の大散財を爲す事あり金放れの好い事は重役以上なりとの評判あり過日押川長官自殺に關し同人は各新聞の記事を一々否認し押川長官に限りては黑幕不正の行爲ある事斷じて無し

◆長官の自　殺は家庭の事情に有りとて何人に向ひても極力辯護に勗め居りしが各新聞記事に關しては非常に神經を刺戟せられ居たる模樣なりしと猶布目四郎吉と同じく該收賄事件に關係ある○○會社某々等三名逮捕せらるべしと傳へられ或は既に内地に於て逮捕せられ居れり等の風說盛んに傳へられ布目と關係を有する向きは

◆戰々恟々　たる有樣なり滿鐵鞍山站工場準備係は滿鐵本社より近かく鞍山站に移轉する筈なり布目四郎吉は前記の通りヤマトホテルより通勤し居たりしなり(大連)

◉布目護送さる

元八幡製鐵所技師當時滿鐵技師布目四郎吉(四二)は八幡製鐵瀆職事件に關し今回令狀執行され九日午後五時商船嘉義丸にて私服警官二名に護送され門司著、一般旅客上陸後水上警察署汽艇にて上陸警察署に休憩し同夜八時三十五分門司發福岡に護送されたり(門司特電)

◉布目解職さる

八幡製鐵所收賄事件に關聯し逮捕せられたる滿鐵鞍山站工場準備係長工學士布目四郎吉は六日附滿鐵員を解かれたり(大連特電)

◉雨が降ても行る

練兵場の演習
その他の餘興

陸軍記念日當日の天候は頗る氣遣はれつゝあるが小雨位ゐなれば新練兵場に於ける諸兵聯合演習並びに騎兵の高等馬術その他師團司令部内の各種の餘興等はすべて決行する筈にて軍隊にては著々準備を進め居れば當日奮つて來觀されたしとの事なり

◉豪遊中を逮捕

廣島縣沼田市町生れの湯木謙二(四二)は昨年九月より平北新義州榮町七丁目料理業藤原某方に雇はれゐたりしが同人は元來モヒ患者の上に大酒飲みなるも精勤して雇主より信用を得て米代金の集金中三月五日得意先より一千四百二十九圓を取立て之れを携へ妻を晦まし雇主より届出で直に接し新義州署にて同人の行方を嚴探中同夜安東縣三ツ通りの料理屋にて豪遊中を發見したるより直ちに新義州署の手に逮捕され目下取調べ中

祝陸軍記念日
專賣宮崎式ペーチカ築設
土木建築請負業
宮崎組事務所
組主　宮崎吉太郎
京城府漢江通八番地
電話五四二番

祝陸軍記念日
○純蔘精製造元
高麗人蔘製劑所
京城黃金町四丁目
電話二五九九番
振替京城四二三六番
下の關支店
臺灣臺北出張所

祝陸軍記念日
陸軍御用達 和洋菓子商　石見堂　龍山漢江通十一番地　電話三二一番
和洋衣類 捗下被服商　佐藤正一　龍山漢江通十三番地　電話三三六番
陸軍用達 書籍文具　廣島屋號支店　龍山漢江通七番地　電話四三九番
西洋御料理　龍山軒　龍山漢江通十六番地　電話五一〇番

祝陸軍記念日
龍山水產株式會社
電話一一五番

祝陸軍記念日
土木建築請負
諸官衙御用達
電氣電話諸機械販賣
私設電話工事請負
淺野セメント販賣
並ニ運送業
高島周祐
京城明治町二丁目百四番地
長電話五七三番

祝陸軍記念日
京城長谷川町七四
和洋諸紙印刷製本
近澤洋紙店
電話二二七五番
電話長九四三番
振替京城二三五番

祝陸軍記念日
京城永樂町二丁目
和洋紙印刷業
播本恒太郎
電話一一〇番

祝陸軍記念日
京城府漢江通十三番地
大和社運送部
大和與次郎
電話長四二〇番
振替京城一五六一番
支店平澤

祝陸軍記念日
淺野セメント株式會社
京城出張所
淺野スレート株式會社
京城黃金町長電話六六二番
京城出張所

祝陸軍記念日
土木建築請負業（いろは順）
服部組　服部房吉　龍山漢江通一三（電話五五六番）
大橋組　宮地吉太郎　龍山漢江通一（電話六三六番）
永田組　永田乙吉　龍山元町二丁目（電話三四七番）
久保組　久保光藏　龍山元町二丁目（電話三〇六番）
山下組　山下坂次郎　龍山漢江通一三
藤井組　藤井森次郎　京城岡崎町（電話六二一番）
藤田組　藤田安之進　龍山元町二丁目（電話五五一番）
秋山組　秋山督次　龍山榮町（電話一二三番）
佐々木商店　佐々木清一郎　龍山榮町（電話五一八番）
木原組　木原猪之助　龍山元町三丁目（電話二〇五番）
白坂組　白坂七雄　龍山漢江通一（電話二〇七番）
守谷組　吉井平太郎　龍山漢江通一（電話四五三番）

滿鮮を通し朝鮮に於て
最大なる製革工場
最大なる製靴工場
最大なる革具工場
を有する
永登浦　朝鮮皮革株式會社
京城南大門通　朝鮮皮革株式會社販賣店　電話一〇八二番
技術益進歩し底革ボックス革其他總ての製革及製靴等品質益優良と相成り價格は斷に據り頗る低廉に御座候間多少に拘らず御注文被下度候

大阪だより

△海運界近狀 遠洋航路は依然運賃高を示し居れるに反し近海航路の運賃は概して軟弱にて石炭運賃の如きは引續き軟調を示し居れるも傭船界は依然好況を持續し鈴木商店が入木商會より時直しの形式にて樺太丸を傭船したるチャーターマネーの如きは近海航路にて二十七圓契約出來したる等は又以て傭船界の現狀の好況を知るべく賣船は船管法の爲め依然閑散なれど最近日洋丸(五千六百二十八噸)は四五月頃渡しにて噸當り六百五十圓にて久原鑛業に賣船契約成立したるが此他にも賣物二、三步行はれたるものゝ如き風潮にあり海運界は漸次活況を辿り居れり

△物價益々暴騰 大阪商業會議所調査に係る一月中物價の變動は八十品種中騰貴五十種下落十六種持合十四種にして前月に比し最も騰貴せるものは清酒灘中等品の五十圓椎茸中等二十八圓綿糸の二十圓インジゴーピユーアの二十六圓コークス二等の十二圓石炭の十圓を主として油糟の七圓四十錢絹糸、細寒天、綿綿、菜種油の各六圓五八十錢鰹節の四圓五十錢廉守漉醤の各三圓六七十錢干瓢の二圓五十錢玄米一圓四錢七厘大麥の一圓八十四錢、錫片栗粉醤油茶金巾異類鉛丸鐵半紙等は一圓乃至一圓表の二圓八十三錢木蠟昆布の一圓安の外皆一圓以下にして白米は四十錢白砂糖は七十五錢黑砂糖及び洋釘は三十五錢煉瓦セメント三十錢方の小安を示したるに過ぎず大體暴騰の趨勢にて甚しきは六割に飛騰せるものあり物價調節の要益々急を告ぐる狀況なり

△工業炭缺乏 工業用石炭即ち粉炭の缺乏を來たせる所以に就ては種々なる原因あり北海道炭は相應の産額あるも粉炭の大部分は關地方の工業用に消化せられ剩す所は汽船用の塊炭のみなるを以て全く關西の工業界は北海道炭に無關係となり又撫順炭は約百億噸の豐富なる含有量を有し現時一箇月十萬噸の採炭量中香港に輸出する額を內地に移入すれば炭價調節に適切なるも大連よりする運賃の高き關係上九州炭に比して約十圓以上の高價なり即ち撫順炭は大連積一萬斤九十六圓大阪迄の運賃四十四圓以上合計百四十圓以上に對し岩松積九州炭は一萬斤百六、七圓運賃二十三四圓合計百三十圓にして炭價十圓方安きも運賃二十圓方高き爲め結局撫順炭は需要に不適となり凡ての需要は運賃の安き九州炭に向ふため一般工業の戰時に於ける規模擴大と共に需要の增加も著しく九州炭の産高增加も尚缺乏を感ずる狀況にて大阪附近の需要のみにても戰前に比し三四割の增加なりと

△硫化染料不振 時局の爲め獨逸染料の輸入杜絕と共に本邦に於ける硫化染料工業は小資本にて事業に着手し得るにより斯業を開始するもの頗る多く騷帶なる發展を見るに至りたるが一般染料市況の依然として保合を繼續し居り一面賣行きの不振による在荷ものあり相場依然として不況の成行を告げ居れるが然し今後は需要期に向ふ事とて近時支那輸出商談の弗々あるものに相俟て前途は幾分見直すべく觀測されつゝあり

△毛斯綸界反撥 毛斯綸は一週間前期追物七十六錢二厘五毛四五六月物八十錢と手堅き唱へなりしも米國の貿易制限令の爲めに生絲市場の低落につれて十九日は期追物四錢七厘五毛先物六錢二厘五毛と春以來の新安値を見せたるが生絲非制限の報と共に二十日は期追物六錢五厘と小戻し四五六月物亦七十七錢にて取手あり目先き手堅く保合ふならんかと(大阪支局)

□櫻御殿休載 作者病氣に付き本日休載

瀆職事件と花柳界及呉服屋

五萬圓一萬圓の呉服券

□今回の大瀆職事件に關し各方面に檢擧の手擴がるやさなきだに風聲鶴唳の時は時を生み呉服券を賣出したる呉服商店官公吏を饗應したる料理店など片ツ端より取調べを受たれば此方面も頗る恐慌を來し其最も打擊を受たるは昨年末なりしが要するに善意味と惡意味なるとを問はず下關門司方面の花柳界は總故あり年末など忘年會に事寄せて連夜大仕組の宴會開かれ一夜の中に散せらるゝ黄白も夥しき巨額に及びたり

◎然るに前記の關係上昨年末の忘年會シーズンは關門の料理屋に於ける大規模の忘年會は全く跡を絕ち其他之れと類似の宴會さへ催されざりしが其結果料理屋側は當て外れとなり是等の宴會の祝儀を豫算に入れた藝妓など年越しを苦にしたるものさへあり料理屋方面の打擊は關門に止まらず炭坑地たる鞍手郡直方、嘉穗郡飯塚方面の料理屋は炭坑專門の華客なるより殊の外恐慌をなし年末に座敷に弦歌の響き聞かざりし程なり

◎又筑豐炭坑客と密接の關係ある博多花柳界も御多分に漏れず博多の第一流料理屋も近年になき閑散なりしが是れは年末のみならず新年宴會さへ殆ど同樣の觀ありしは止むを得ざる事なるべし贈賄の道具に使はれたる呉服券を發賣せる呉服商店は昨年秋頃より著々取調を受け其範圍は東京大阪を始め九州の各關係地に及びたるが前記の事情にて從來炭坑側御用商人側にて歲暮の贈品となりし呉服券は全部なくなりしは勿論敢て不正に行使せられざりし各會社まで自然手控する事となりたるものなり

◎今回の瀆職事件に關し昨年中東京大阪の三越呉服店にて發賣せる呉服券は取調の結果東京三越にて五萬圓券二枚、一萬圓券五枚大阪三越にて一萬圓券八枚を發見したる程なれば關門博多其他各地にても發賣せる呉服券の總額面は素より夥しき多額なるべし某々方面の主なる官吏は中元歲暮に際し贈品として受る呉服券の總額面數百圓に達せるを一二割引にて賣り又發賣せる呉服商店には現金に引換へる向もありしと(門司)

□春燈吟 其の八―大正七、三、二―

雛

雛の客戾る渡舟に月を得たり 迎南

雛日前後生死いくつ子に過ぎ移へ 春樹

今年雛祭らで獨り住みに老 笛木

松の花

溫泉の町に馭者待つ辻や松の花 白風

松の花眞砂に散るや濱館 韮城

碑に遠く人踏まぬ芝や松の花 迎南

屏に高く水影動きぬ松の花 水子

松緣山の大雨のはれにけり 澄黄子

鷄林同人會第二十回詠草

御歌所寄人 井上通泰選

水仙 白石 資鐵

ほぐるそこもの如の日あたりに垂肥れてさけ水仙の花 同人

あまたたび雪に埋れてたけ低く今年はさける水仙の花 同

冬の日のさし入る窓に據ゑおきし水仙の花 渡部啓次郎

早咲の梅の香高き日盛りの瓶にほふ水仙 佐々木信一

香袋みつもれる雪たかきわけて匂ひいでたる水仙のはな 島村 不老

雪わけて訪ふ人もなき窓の內にほころびそむる水仙の花 岩本 愛子

一つさきそめけりと家刀自がほころびげたる窓の水仙 坪內 孝

庭しろき雪にやさきはふ水仙の花さへ寒さへさやけかりけり 田淵 鼓

あしたづの聲もみだるゝしん風に北山こゆる空の雲 岩本 愛子

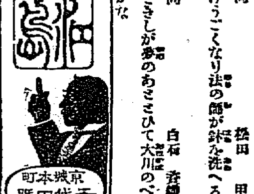
の白菜 同

わざやかに入江の水にうつるかなつま紅の夕の雲 佐々木信一

白雲のかげうごくなり法の師が鉢を洗へる谷の流に 同 松田 甲

百濟野やこぼしが參のあささひて大川のべに雲か見るかな 同 白石 資鐵

技術紹介 (江島)



新刊紹介 (到着順)

△戰友(九三) 在鄕軍人本部より發行せるもの、田中永沼諸將軍、力石芙城縣知事、深村博士、櫻井少佐、橋本手菜高等商業學校敎諭その他の執筆に成る有益多趣味なる記事多し(七錢東京麴町飯田町二ノ五二帝國在鄕軍人會本部)

△青島(七) 假語を集めたるもの中に取ふべく誦すべき佳調多し(二十錢京城本町四の一二五第一銀行社宅中村氏方)

△朝鮮氣象月報(四九)二錢仁川朝鮮總督府觀測所

△大正七年國易諸占錄(小玉吞象著)大阪曾根崎町上二の六〇小玉吞象氏共發行所

△新公論(三月號)社說(後藤內閣如何)三諸博士、望月代議士等の論說の外歐洲戰後の文明論(五氏論文)人物と議會論(濫城)平田加藤二子論(鐵拳禪)露國の瓦解並に就て、現代奇人變人傳、押川長官の死に就て、誰に創作皆讀むべし(一冊三十錢東京々橋區加賀町共社)

△婦人の友(三月號) 婦人職業問題號とて羽仁主筆及び三宅博士の婦人職業論諸家の婦人職業の必要その利害得失に關する意見十五題人の私は斯うして職業を得ました實際的讀物豐富なり(廿錢東京の婦人の友社)

△御會及農村(三月號)十五錢東京麴平河町五ノ三六洛陽堂

讀者の領分

△乞食が屢溺めの中から紙片や新聞紙など拾うて行きますがあれは何に使用されるか皆さん御存知ですか、それはね皆さんが芋や餅を買つて包で貰ふ紙や燒栗を買うて入れて貰ふ袋こそあの汚い廢溜の紙ですよ勿論總てがさうだとは云ひ兼ねますがね(子守)△活動に行つて不快に感ずる事は便所を開け放しにされる事だ如何に無感覺な鈍物にせよ少しは他人の迷惑を顧みて貰ひたい(見物人總代)△僕が先逹時計を合はせて貰ひ翌朝それを的にして出勤したら課長殿からお眼玉喰ふたよく〳〵見れば一時間の差があつた時計屋では時計が眠つてゐるよ(愚太郎)△京城には未だ完全な圖書館がない樣です文明の都會として少し淋しいではありませんか(濫樂の袴)△社會の改善!それは我々の頭上に置かれた義務であらねばならぬ公德!それは吾々が社會の一員として果さねばならぬ義務である吾々は此の義務を全うすべく此度發表された『結核豫防法』を社會の一員として是れが實施を率先したいと思ふ(民聲子)

御旅行と御散步と動物園行には輕裝なる洋服に遊ばせ 京城旭町 電話三〇二番 コドモヤ洋裝店

大阪株式市況 九日 前引

九日後場 大阪前止め惡落後寄安の入氣に當限二十二圓四十錢先四十錢と十五七錢九錢六錢七錢八錢九錢四十錢三十

△先限一節二十二圓四十錢三十八錢九錢六錢五錢七錢六錢七錢八錢七錢八錢九錢四十錢三十

仁川米豆取引所 九日の四月限

●胃がん にて困難の方は悲觀せず勿れ効能正しき良藥あり往復藥書で申込あれ詳報す ◎播磨國明石西魚町 元木眞一

苗木販賣 菓子、林檎、桑、桐、松、アカシヤ其他各種、菊花各種御注文に應ず 申込次第目錄並に定價表進呈仕候 仁川敷島町 種苗園

京日案內 普通五十一回前金一番外一回前金一圓(五回)

△申込は前金に限る △六回以上の御申込は特に割引す △廣告掲載の日は必ず數字にて御指定あれ

普通 ◎代診生藥局生看護婦及見習生至急入用 志望者は履歷書携帶本人來院の事 仁川 佐藤病院 490

黄金町二丁目電取次二二三〇 古服商買入御報參上 木村洋服店 482

ミシン城工主急入用 男女を問はず希望者は照會あれ 平壤大和町 小町屋商店 487

△金融 官吏教師へ極秘信用手輕 貸出御報同上候又御來談 京城本町五電車終點北 大和屋質店

貸地家 三百餘坪 櫻井町二丁目 社宅地ニ適ス 姓名在社 283

番外 ◎店員募集 希望者は本人來談あれ 但市內確實なる身元保證人二名 花園町一丁目 難波酒造場 電話一四六一

貸家 旭町一丁目獨立家屋 三九一 電話一七一四 白水 489

◎はねつぎ 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場 311

議政府 揚州抱川永平行荷物 便合牛馬車每日差立 京城 用者行專門運送業 電話二九〇二 ㊁運送組 484

給仕募集 但シ十六才上 希望者は自筆履歷書携帶來談あれ 京城黄金町一ノ一八五番地 蓬萊生命保險相互會社支部

最新刊

書名	著者	定價
榮山延造傳(朗讀)	入北村操琴	二五〇
小生の手紙	大町桂月	一三〇
婦人の爲めに	高島米三郎	一三〇
修養道歌日訓	蓮沼[illegible]	一四〇
文字の教へ方	石井勝太郎	一五〇
英文典新釋	清水起正	九〇
英語學び方	岡田乃武	九五

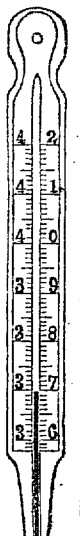
自修英語速成 日本英語學會 定價八十五錢

書名	著者	定價
能と謠の講話	大沼竹村	一二〇
小學校の兒童及家庭敎育	敎育研究會	七〇
兒童の文章力に於ける綴方指導の實際	氏家丑次郎	一五〇
するめ	大熊吉總	一三〇
投機の奥の手	曾根竹齋	三五〇
斃れるまで	櫻井少佐	一二〇
日蓮宗派逸話集	大衆典研究會	一二〇
現代に於ける理想の珠算 上下	石上[illegible]之助 各	七五
學び方解方	松村定三	五〇
小說の作り方	德田秋聲	五五

大阪屋號 京城本町電六八四・二〇八六・振京城二五七三

朝鮮總督府醫院檢定證附 定價特製壹圓四十錢 郵稅十二錢

本品は時代の要求に喚醒せられ多年苦辛考究の結果製作したる良品にして彼の精巧無比と誇れる獨逸製を凌駕し示度の正確さ技術の優秀なるは本邦幾多製品中の模範的逸品たるを證す加之價亦廉也乞ふ眞僞は現品に徵せられたし



優美サックス入

◎發熱と檢溫器=家庭必備◎ △代表的模範 PINE 檢溫器▽

商標 PINE パイン檢溫器發賣元 京城太平通 振替京城三〇〇 電話長三六六 京城日報代理部

米國製 十四金ペン 正 特殊創案 自働インキ含裝置『パインビジネスペン』 定價金壹圓九十五錢

進步的經濟的文房具の需要日に加はり平常使用の『ペン』先に金製のものを使用するの最も適切なるは言を俟たず、而して此の金ペンを裝する軸エボナイト製に到りては唯あるのみ尚裝置せし『ペン』の背後に密接する特殊創案の『インキ』を含ますれば一度入物によりて數頁の使用に耐ゆる 頗る理想的の商等文具にして先耐久力が期せらるゝのみならず 各銀行、會社、官廳よりの御用命續々たり

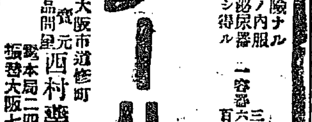
林病新藥 ゴノチール

◎極メテ合理的ニ創製セラレ彼ノ危險ナル洗滌等ノ副療法ヲ要セズ單ニ本劑ノ內服ニ依リ淋病、膀胱、尿道炎、等ノ泌尿器疾患ニ對シ容易ク治療ノ目的ヲ遂シ得ル最モ卓越セル新劑ナリ

◎各地有名藥店ニアリ ◎說明書ハ現品ニ添附ス

一容器 三十球入 六十球入 百球入

發賣元 大阪市道修町 西村藥林社 藥品問屋 電話本局二四九一番 振替大阪七五九〇



春季種苗代價表 御申込次第無代進呈 東京 日本種苗株式會社

ブルトーゼは帝國醫科大學病院で色々の試驗者に實驗して此上なき眞の補血強壯劑と稱讚され ただに御子達にも喜ばれるおいしい味を持つて居る

一瓶容量 二百五十瓦入(約半ヶ月分) 全國の信用ある藥店にあり

藥劑師 中田幾助創製 藤澤樟腦本舖 發賣元 大阪 東京 藤澤友吉商店 No.21

移轉御通知 從來南山町三丁目卅九番地に於て營業罷在候處今回業務擴張の爲め南大門通二丁目百卅五番地へ移轉致同時に出張所を支店に改稱仕候間此段謹告候也 大正七年三月十日 京城南大門通二丁目百卅五番地 鍵商店京城支店 電話長二三〇三 二四一五番

贊化病院 京城明治町一丁目 電話二四二番 內科 小兒科 入院隨意 毎日五名を限り無料施療す 醫學博士 古城憲治

京城龍山等各地に僞物有御注意

百圓進呈 りん病 ばいどく 大阪 多商會

帝國醫科大學病院 淋病第三期は治療困難とし梅毒第三期は驅梅內服藥とし醫藥學上最有効と確定―― 普にて寶樣配劑せる高價藥あるを保證す若し前述の證言に違ふる事を發見せる時は分析料百圓進呈

◎あらゆる治療をなすも効なき患者先に角度來發あれ にせ物 にせドラッグあり 東京其他各地に 大阪有田 取るを敬

◎にせ物と奸商 通貨でも偽造する惡奸ある世の中だから止むを得ざる譯なれど我商會同樣の者を發見を絕ぎる分達はぬにせ物を賣る奸商が東京初め各地に續出しは大阪朝日東京報知東京時事其他全國の大新聞と特約し廣告するも何分百日千人のせの中にせ物と知らずして買ふ人あり我商會製藥買求の方は大阪有田製藥を御取あれ

京城南大門外 大阪 多商會 鍾路三丁目 同

大阪三休橋 京城南大門外停車場通 有田ドラッグ商會

間自動車著發時刻 鐵原自動車部金泉支部

尼崎汽船出帆 仁川 群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行 神代丸 三月十八日後四時出 秀吉丸 三月廿一日後四時出 君代丸 三月十九日後四時出 大有丸 三月廿五日後四時出 仁川海岸通三丁目 電話五十九番 高杉回漕部

大阪共同汽船出帆 仁川 芝罘、大連行 共同丸 三月十一日午後入港 三月十三日午前時出 本町四丁目(電話一七三番) 阿波共同汽船株式會社 仁川代理店 堀口商會 元山代理店 田口回漕部 京城取次店 河村運送店

日本郵船出帆 仁川 ○大連行、天津行 相模丸 三月二十日 三河丸 三月十一日 高砂丸 三月卅一日 正午出 仁川海岸町十丁目 堀回漕部

汽船釜山出帆廣告 ○門司、神戶、大阪行 和歌浦丸 月 日後五時出 立神丸 月 日後五時出 ○元山、淸津、浦鹽行 和歌浦丸 月 日後四時出 立神丸 月 日後四時出 ○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天與丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日午後十時出帆 ○元山、西湖、新浦、城津、淸津行 第三平安丸 三月十三日後六時出 ○門司、宇品、神戶、大阪行 第三平安丸 三月廿一日後六時出 釜山港埋立新町 大池回漕部

大阪商船株式會社 汽船出帆廣告 仁川出帆 神戶大阪行(群山寄港) 須磨丸 三月十二日後五時出 南部丸 三月十一日後五時出 福州丸 三月十一日後五時出 安東丸 三月二十日 正午出 鎮南浦、大連行 安東丸 三月十五日 正午出 信濃川丸 月 日後二時出 元山出帆 宮島丸 三月十日後十二時出 西湖津、新浦、城津、淸津行 宮島丸 釜山、門司、宇品、神戶、大阪行 三月十五日後九時出 上海、基隆、打狗行 湖北丸 三月 日前六時出 基隆丸 三月十四日後四時出 大連出帆 內地各港出帆主要航路 南米行 毎月一回 北米行 毎月一回 歐洲行 毎月二回 孟買行 毎月一回 御注意 大阪商船株式會社仁川支店 京城切符發賣所

朝鮮郵船 出帆 本社 京城南大門 釜山港 元山港 仁川港 木浦港代理店

○釜山より ○第二高運丸 月 日 成鏡丸 月 日 京畿丸 月 日 忠淸丸 月 日 ○元山より北鮮各地經由雄基行 城津丸 鏡城丸 京畿丸 忠淸丸 高運丸 月 日 元山發 ○大阪行(釜山門司經由) 平壤丸 月 日 釜山發 ○元山より釜山關門行 第二高運丸 京城丸 月 日 元山發 ○元山より江原道寄港釜山關門行 成鏡丸 忠淸丸 月 日 元山發 ○鬱陵島行 盈德丸 月 日 釜山發 ○浦項行 江陵丸 襄陽丸 毎日 釜山發 ○濟州島行長承浦麗水巨文島經由 昌平丸 月 日 釜山發 ○濟州島行 東廻 公州丸 西廻 慶興丸 月 日 木浦發 ○釜山、麗水間 統營丸 濟州丸 巨濟丸 毎日 釜山發 ○木浦、群山 順天丸 南陽丸 三日目毎ニ 木浦發 ○木浦より多島海各島行 慶興丸 月 日 木浦發 ○仁川木浦行 晉州丸 金海丸 月 日 仁川發 ○海州行 全州丸 南陽丸 休航 毎日 仁川發 ○鎮南浦行 三十一日ハ休航 其他結氷ノ爲メ休航行ノ事アリ 江原丸 月 日 仁川發 ○淸津行(大阪神戶門司より) 平壤丸 月 日 元山發